

Clavinova[®]

CVP-30 取扱説明書



YAMAHA

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

ヤマハの豊かな音楽性と楽器づくりのノウハウ、そして先進のエレクトロニクス技術の結集により、クラビノーバは誕生しました。そのシャープで美しいフォルム、機能性、さらに操作性。クラビノーバは、音楽表現の幅をさらに広げる完成度の高い未来指向の鍵盤楽器です。

自然で弾き応えのあるAE鍵盤をはじめ、リアルな音色を実現したAWM音源、幅広いジャンルに対応する32種類のリズム、自分の演奏を録音できるパフォーマンスメモリー機能、リアルな響きが得られるリバーブ機能、豊富なオプション端子等、これらの優れた特長を生かし、自由なスタイルで存分に使いこなしてください。

本書では、クラビノーバをいつまでも楽しくお使いいただけますよう、取り扱い方法を分かりやすく説明しています。ご使用前に、ご一読ください。

この取扱説明書の見方

本書は、クラビノーバの豊富な機能、操作方法を理解しやすいうように、少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になっています。従って、基本的には前の方から順にご覧ください。

また、次のような見方をされるのもアイデアです。

・全てをご理解いただいた後は……

“もくじ”のページを開き、目的に合った所をさがす。

・ボタン等のはたらきが分からなくなった時……

“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを見る。

もくじ

①ご使用の前に

1. ご注意	ページ 3
2. クラビノーバの組み立て方	3

②各部の名称とはたらき

5

③ステップ1(基本編)

1. 好きな音色で弾こう	7
2. リバープをかけてみよう	8
3. 音程を変えるには?	8
4. 他の楽器と音程を合わせるには?	9
5. リズムに合わせて弾こう	10
6. スプリット演奏をしよう	11
7. 和音を指1本で(ピアノABC)	12
・シングルフィンガーコード一覧表	14
・楽譜の読み方	16

④ステップ2(活用編 I)

1. ピアノABCで楽々演奏	17
・フィンガードコード一覧表	19
・練習曲 I (ロコモーション)	23
・転回テクニックで楽々演奏	25
2. ソロスタイルでパフォーマンス(ソロスタイルプレイ)	25
3. 自分の演奏を録音(パフォーマンスメモリー)	26
4. パネル上の設定を記憶(レジストレーション)	28
・練習曲 II (オルビアを聴きながら)	29

⑤ステップ3(活用編 II)

1. 打楽器を担当してしまう	31
2. 他の機器と接続するには?	31
3. MIDI機能でステップアップ	32
・MIDIとは?	32
・本機のMIDI端子	32
・MIDIでできること	32
・MIDI関係の設定・機能	33
・MIDIデータフォーマット	36
・MIDIインプリメンテーションチャート	39

⑥資料

1. オプション(別売品)のご紹介	40
2. おかしいな?と思ったら	41
3. 仕様	42
4. 発音数一覧表	42
5. アフターサービスと保証	裏表紙

1 ご使用の前に

1. ご注意

設置場所



次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

お取り扱い



落としたり、物をぶつかけたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

電源の処理



ご使用後はパワースイッチを切ってください。

外装のお手入れ



お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上に乗かないでください。

他の電気機器への影響



ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

保証書の手続き



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。

保管

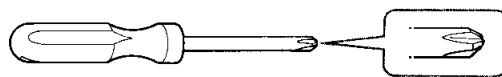


この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

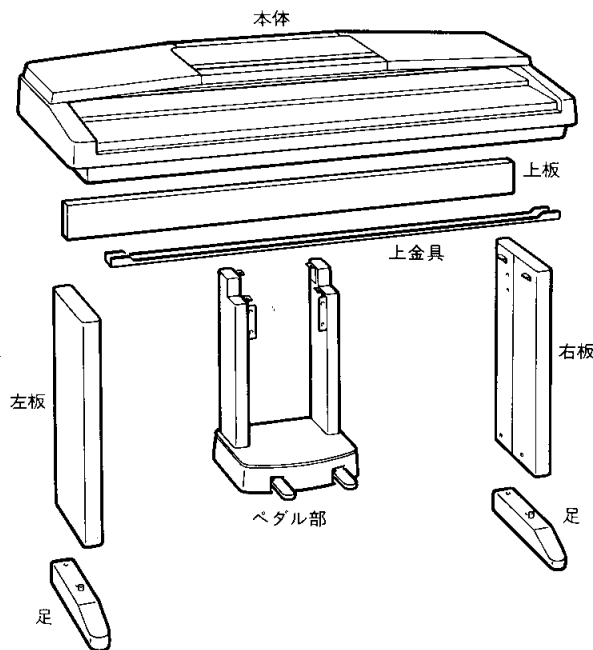
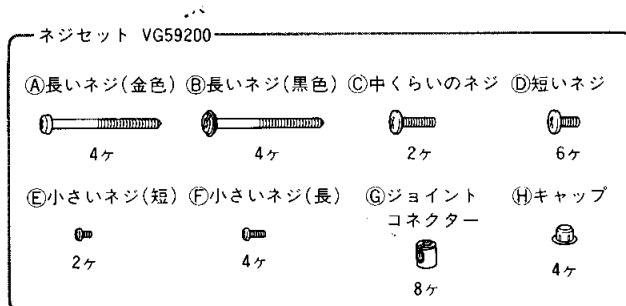
2. クラビノーバの組み立て方

- ・部品をまちがえたり、取り付けの向きを間違えないように注意しながら、手順どおり組み立ててください。
- ・解体する時は、組み立てと逆の手順で行ってください。
- ・組み立ては2人以上で行ってください。1人で無理に組み立てようとすると、傷をつけたり、製品に悪い影響を与えることがあります。また、毛布などの柔らかい布の上で組み立てられることをお勧めします。

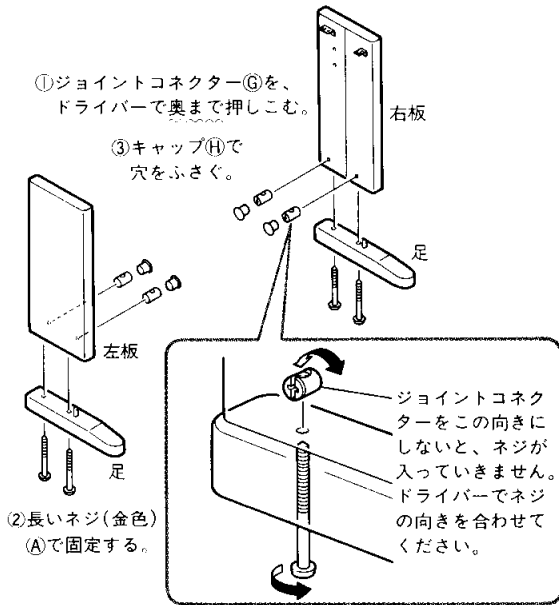
1. + (プラス) のドライバーを用意します。



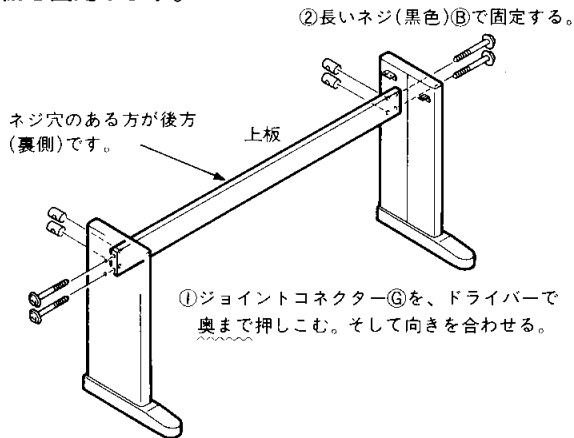
2. 箱を開けて部品を取り出します。そして部品が全てそろっているか確かめてください。



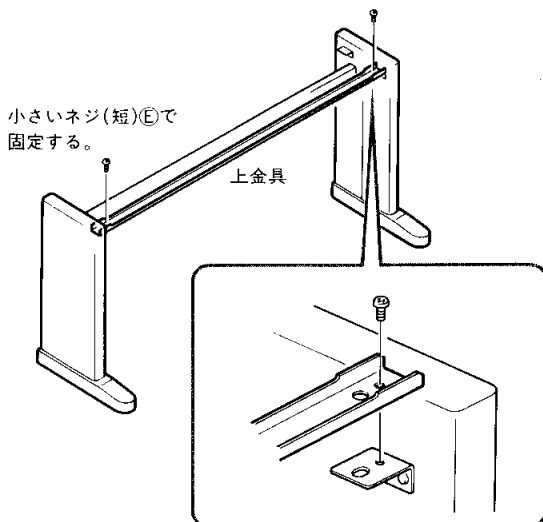
3. 右板と足、左板と足を固定します。



4. 上板を固定します。

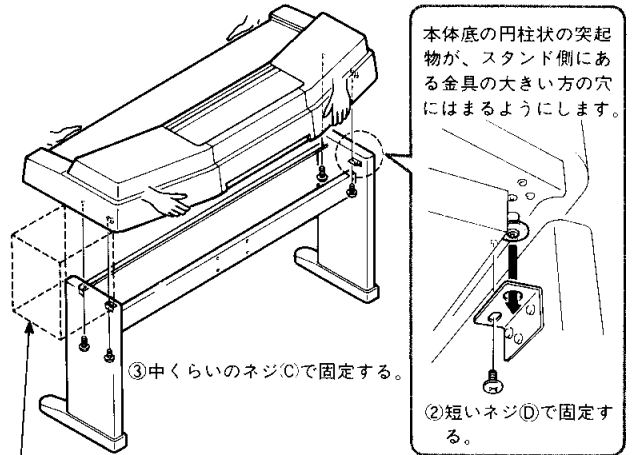


5. 上金具を固定します。

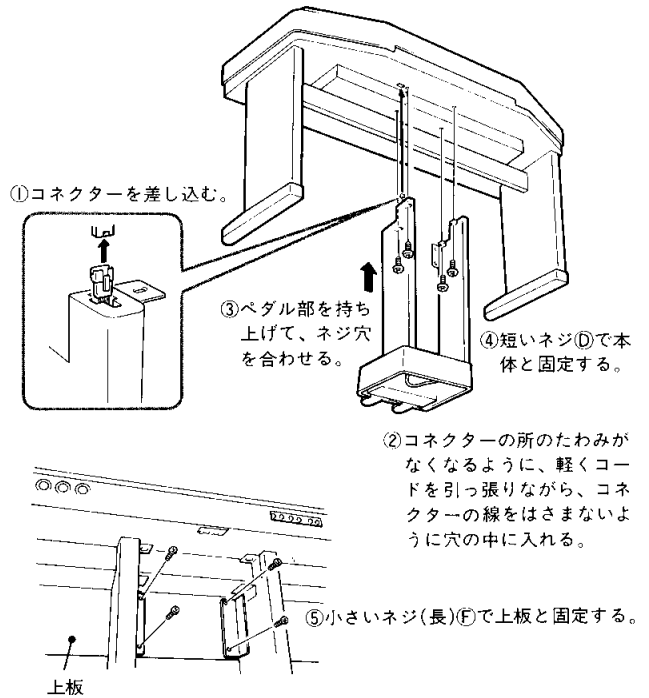


6. 本体を固定します。

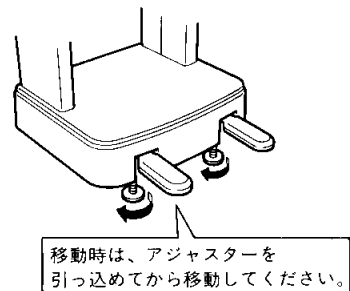
①手をはさまないように充分注意しながら、本体を載せる。



7. ペダル部を取り付けます。

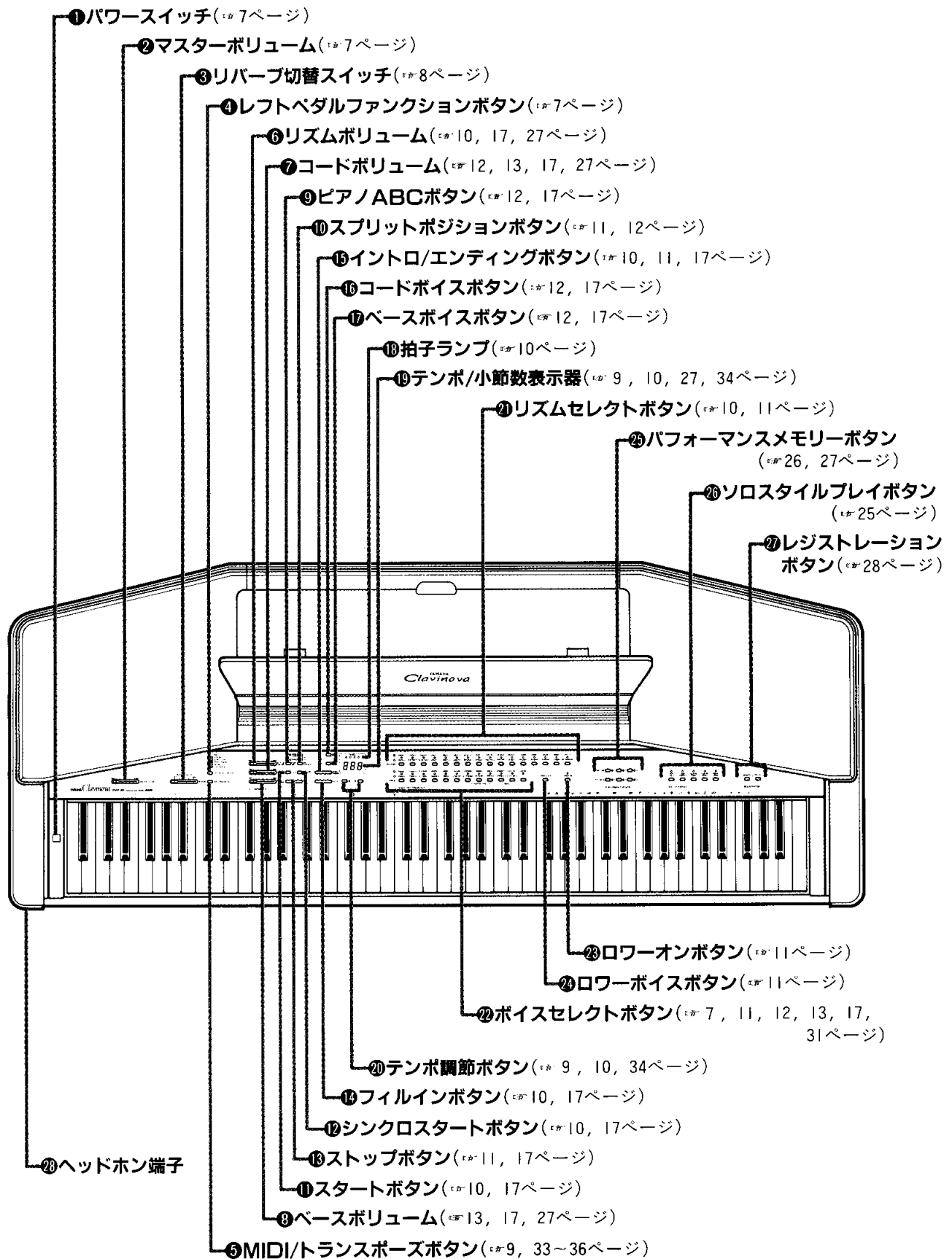


8. アジャスターを回して床にぴったり付け、ペダル部を安定させます。



2 各部の名称とはたらき

※マークのところにくわしく説明してあります。



① パワースイッチ

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。

② マスターボリューム

全体の音量を調節するレバーで、右の方にずらすほど音が大きくなります。

③ リバース切替スイッチ

4種類の中から好みの効果を選んでリバースをかけることができます。リバースをかけると、音の響きが豊かになります。

④ レフトペダルファンクションボタン

左ペダルの働きを切り替えるボタンです。電源スイッチを入れた時はソフトペダルとして働くようになっていますが、好みに応じてこのボタンで変更できます。

⑤ MIDI/トランスポーズボタン

MIDI(ミディ)機能の設定をする時や、トランスポーズの設定(移調)をする時に使用します。

⑥ リズムボリューム

リズム音の音量を調節するレバーで、5段階になっています。右にずらすほど音が大きくなります。リズムを鳴らす時のみ関係します。

⑦ コードボリューム

コード音、および低音部の音量を調節するレバーで、5段階になっています。右にずらすほど音が大きくなります。ピアノABC機能やローオン機能など、低音部の音色が高音部と異なる機能を使う時のみ関係します。

⑧ ベースボリューム

ベース音の音量を調節するレバーで、5段階になっています。右にずらすほど音が大きくなります。ベースを鳴らす時のみ関係します。

⑨ ピアノABCボタン

リズム、コード、ベースによる自動伴奏をさせる時に使用するボタンです。ボタンを押してシングルフィンガーのランプを点灯させると指1本で、フィンガードのランプを点灯させると普通のコードの押さえ方で、自動伴奏させることが可能になります。また、シングルフィンガーのランプを点灯させて、リズムをスタートさせずに指1本でコードを鳴らすこともできます。
※ABCはオートベースコードの略です。

⑩ スプリットポジションボタン

鍵盤を低音部と高音部に分けて使う時の、境界線を定めることができます。L(ロー)、M(ミッド)、H(ハイ)の3種類の中から選ぶことができます。L、M、Hの位置は鍵盤の上側に表記してあります。ピアノABC機能やローオン機能など、低音部の音色が高音部と異なる機能を使う時のみ関係します。

⑪ スタートボタン

リズムやピアノABCをスタートさせる時に押します。

⑫ シンクロスタートボタン

鍵盤を押すのと同時に、リズムやピアノABCをスタートさせる時に押します。

⑬ ストップボタン

リズムやピアノABCを停止させる時に押します。

⑭ フィルインボタン

フィルインのパターンを入れる時に押します。

⑮ イントロ/エンディングボタン

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンでリズムを停止させる時に押します。

⑯ コードボイスボタン

ピアノABC機能などでコード音を鳴らす場合、コード音の音色指定に使用します。このボタンを押しながら、希望する音色のボタンを押して指定します。

⑰ ベースボイスボタン

ピアノABC機能などでベース音を鳴らす場合、ベース音の音色指定に使用します。このボタンを押しながら、希望する音色のボタンを押して指定します。

⑱ 拍子ランプ

拍子を目で確認できます。1番左が1拍目で赤色点灯、2,3,4番目が2,3,4拍目で緑色点灯します。

⑲ テンポ/小節数表示器

リズム停止時とテンポ調節時にはリズムの速さ(テンポ)を表示し、リズムスタート後はリズムをスタートさせてからの小節数を表示します。その他、様々な設定で使用します。

⑳ テンポ調節ボタン

リズムの速さ(テンポ)を調節できます。右側のボタンを押すと速くなり、左側のボタンを押すと遅くなります。

㉑ リズムセレクトボタン

32種類の中からリズムを選ぶことができます。同列の上段のリズムから下段のリズムに切り替える場合、または同列の下段のリズムから上段のリズムに切り替える場合は、もう1度そのボタンを押してください。

㉒ ボイスセレクトボタン

23種類の中から音色を選ぶことができます。同列の上段の音色から下段の音色に切り替える場合、または同列の下段の音色から上段の音色に切り替える場合は、もう1度そのボタンを押してください。なお、ドラムスを選んだ場合には23種類の打楽器音を使って、自分でリズムパートを演奏することができます。(ドラムスにした時の各鍵盤への打楽器の割付が、鍵盤上部にイラストで示されています。)

㉓ ローオンボタン

低音部を高音部と異なった音色で鳴らしたい時にオンにします。オンにするとボタン上部のランプが点灯します。低音部と高音部の境は、スプリットポジションボタンで選択します。

㉔ ローボイスボタン

低音部を高音部と異なった音色で鳴らす場合の、低音部の音色指定に使用します。このボタンを押しながら、希望する音色のボタンを押して指定します。

㉕ パフォーマンスメモリーボタン

自分の演奏を録音(記録)しそれを後で自由に聴いたり、それに合わせて演奏することができます。トラックが3つありますので、異なった曲を3曲録音したり、楽器編成(パート)を3トラックに分けて1曲を録音するなど、様々な使い方ができます。※3つのトラックは簡単に言えば3台のテープレコーダーです。2つのトラックを再生しながら、それに合わせて残りのトラックに録音することなどが可能です。その場合、もちろん3つのトラックは同時にスタート/ストップできます。

㉖ ソロスタイルプレイボタン

リズムや音色の組み合わせが、演奏形態に合わせてあらかじめ5種類セットされています。希望するボタンを押してオン(点灯)状態にすることにより、そのスタイルでの演奏が可能になりますが、ソロスタイルプレイは、あれこれとパネル上の設定をしなくても即座に、目的とする演奏形態にする機能です。

㉗ レジストレーションボタン

音色や音量、リズムの種類、テンポ、ピアノABCの状態……等、パネル上の設定を記憶させることができ、リコールボタンを押すことにより、いつでもその状態を呼び出すことができます。

㉘ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラブノートのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

3 ステップ1 (基本編)

1.好きな音色で弾こう

①電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

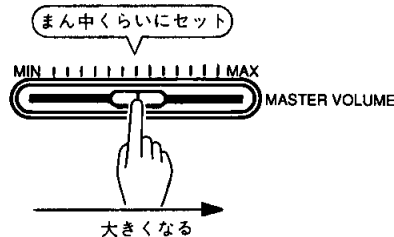
②パワースイッチをオンにします。



オンにすると、リズムセレクトボタン、ボイスセレクトボタン、スプリットポジションボタンのランプが点灯すると共に、テンポが表示されます。

- ★パワースイッチをオンにすると、音色はピアノ1、リズムはポップス1になります。
- ★パワースイッチをオンにした後約3秒経過してから、音を出せます。
- ★パワースイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

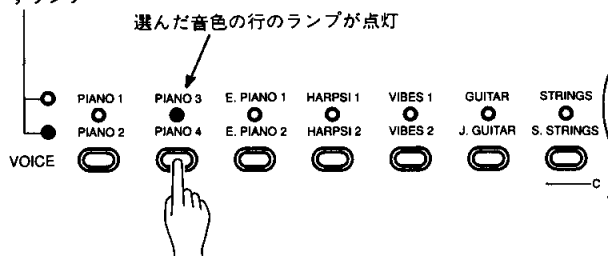
③マスターボリュームで音量を調整します。



- ★鍵盤を押して音を出しながら調整してください。
- ★最小(MIN)にしても音は出ます。音を完全にしぼりたい時は、ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込んでください。

④音色を選んでください。

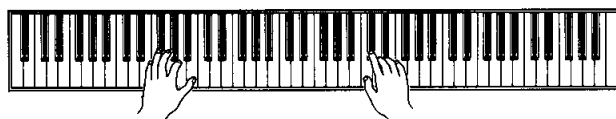
現在、上段の音色になっているか、下段の音色になっているかを示すランプ



(つまり、この場合はピアノ4が選ばれたこととなります。)

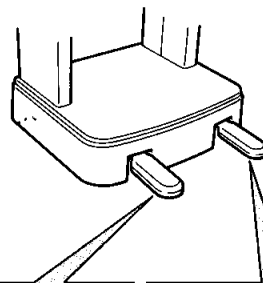
- ★23種類の中から音色を選ぶことができます。希望する音色のボタンを押してください。なお、同列の上段の音色から下段の音色に切り替える場合、または同列の下段の音色から上段の音色に切り替える場合は、もう1度そのボタンを押してください。
- ★音色を2つ選んで、いっしょに鳴らすことはできません。
- ★ドラムスを選ぶ場合は、31ページの“打楽器を担当してしまおう”を参照してください。

⑤弾いてみましょう。



- ★ピアノと同じように、弾く強さによって音の大小(強弱)を表現できます。
- ★いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。
- ★同時発音数は16音(16音ポリフォニック)です。

⑥ペダルを使ってみましょう。



レフトペダル
このペダルの働きは自由に選択できます。パワースイッチをオンにしてから設定を変えていなければ、ソフトペダルとして働くようになっています。

ダンパーペダル
このペダルを踏むと、リズムおよびドラムスを除く全ての音に余韻がつきます(ダンパー効果)

レフトペダルの機能の切り替え方法

レフトペダルファンクションボタンを押して、希望する機能のランプを点灯させます。なお、ランプが点灯していない状態は、ソフトペダルの状態です。

- SOFT
- SOSTENUTO
- START / STOP
- INTRO / ENDING
- FILL IN
- S. STYLEPLAY

ボタンを押すことに、順に切り替わります。



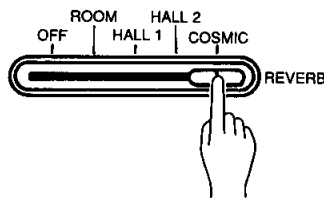
- ・ソフト：ペダルを踏むと、音の響きがやわらかくなります。
- ・ソステヌート：ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます。
- ・スタート/ストップ：リズムが止まっている時にペダルを踏むとリズムがスタートし、もう1度踏むと止まります。

- ・イントロ/エンディング：リズムが止まっている時にペダルを踏むとリズムがイントロのパターンからスタートし、もう1度踏むとエンディングのパターンの後止まります。
- ・フィルイン：リズムが止まっている時にペダルを踏むとフィルインスタートの予約となり（もう一度踏むと予約解除）、リズムが鳴っている時に踏むとフィルインのパターンが入ります。
- ・ソロスタイルプレイ：ソロスタイルプレイのオン/オフボタンがオンされている時のみ、この機能を選択できます。ペダルを踏んでいる間だけ、高音部の鍵盤の音が厚みのある音になります。

2.リバーブを掛けてみよう

リバーブをかけることができます。リバーブをかけると、音の響きが豊かになります。

リバーブ切替スイッチを、希望する響きのところに切り替えてください。



★切り替えによって次のように変わります。

- ・オフ：リバーブはかかりません。
- ・ルーム：響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
- ・ホール1：小さめのコンサートホールで弾いた時のような音になります。
- ・ホール2：大きめのコンサートホールで弾いた時のような音になります。
- ・コズミック：こだまのような響きが得られます。

★モードによって、各パートに対するリバーブのかかり具合が次のように異なります。

モード	パート	ポジション				
		オフ	ルーム	ホール1	ホール2	コズミック
全機能オフ時	手弾き	×	○	○	○	○
リズムオン時	手弾き	×	○	○	○	○
	リズム	×	○	△	△	×
ピアノABCオン時	高音部	×	○	○	○	○
	低音部	×	○	△	△	×
	リズム	×	○	△	△	×
ローオン時	高音部	×	○	○	○	○
	低音部	×	○	○	○	○

- ：効果が100%かかる
- △：効果が50%かかる
- ×

※スプリットポイントを基準にして右側を高音部、左側を低音部としています。

※音色をドラムスにした時も手弾きと見なされます。上表の手弾きおよび高音部の欄をご覧ください。

3.音程を変えるには？

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

音程を変える時にはここに示すトランスポーズという機能を使って、希望する量だけずらしてください。

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと



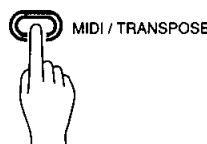
のように弾いたものが



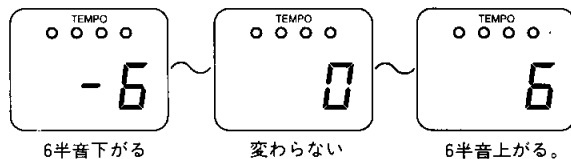
のように鳴ります。

移調量の設定方法

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



②テンポ調節ボタンで移調量を指定します。テンポ/小節数表示器を見ながら設定できます。

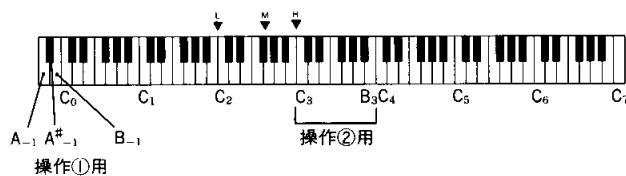


- ★たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、5半音高くすればよいわけですから、値を+5(表示は5)にします。
- ★パワースイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。また、◀ボタンと▶ボタンを同時に押せば0に戻ります。
- ★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。
- ★トランスポーズの結果により発音域(A₋₁~C₇)以外となった鍵盤を弾いた時は、高音発音域外は1オクターブ低く発音され、低音発音域外は1オクターブ高く発音されます。

4.他の楽器と音程を合わせるには？

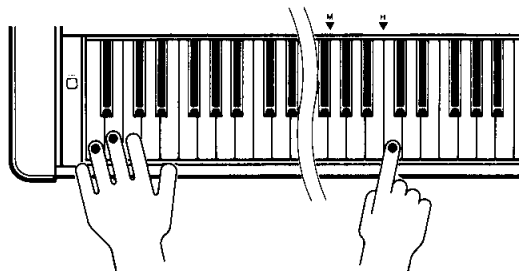
合奏の時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることが出来ます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせることが出来ます。

音程の合わせ方



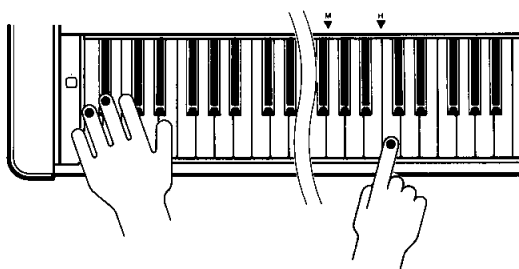
◆音程を上げる時

- ①左下の図に示したA₋₁とB₋₁の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を上げて、合わせてください。

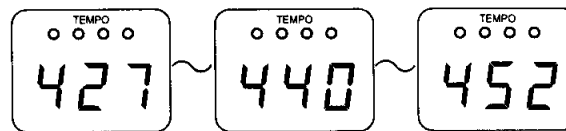


◆音程を下げる時

- ①左下の図に示したA₋₁とA_{#-1}の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を下げて、合わせてください。



- ★パワースイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A₃=440Hz)
 - ★元の高さ(A₃=440Hz)に戻す時はパワースイッチをオンしなおすか、またはA₋₁、A_{#-1}、B₋₁の3鍵盤を同時に押しながら、C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押してください。
 - ★±50セントの範囲、約3セントステップで設定出来ます。(参考：100セント=半音)
- なお、テンポ/小節数表示器には周波数で表示されます。



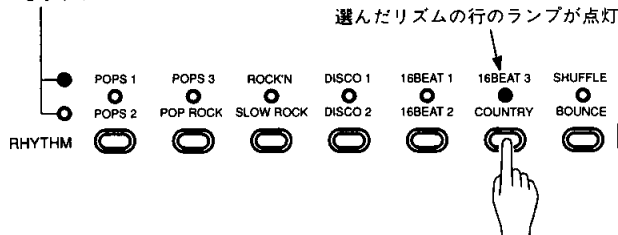
A₃=427Hz(-50セント) A₃=440Hz(標準) A₃=452Hz(+50セント)

操作後約3秒経過すると、この表示からテンポ表示に切り替わります。

5.リズムに合わせて弾こう

①リズムを選びます。

現在、上段のリズムになっているか、下段のリズムになっているかを示すランプ

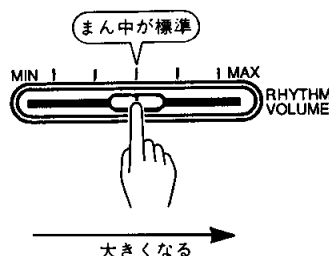


(つまり、この場合は16ビート3が選ばれたことになります。)

★32種類の中からリズムを選ぶことができます。希望するリズムのボタンを押してください。なお、同列の上段のリズムから下段のリズムに切り替える場合、または同列の下段のリズムから上段のリズムに切り替える場合は、もう1度そのボタンを押してください。

★リズムを2つ選んで、いっしょに鳴らすことはできません。

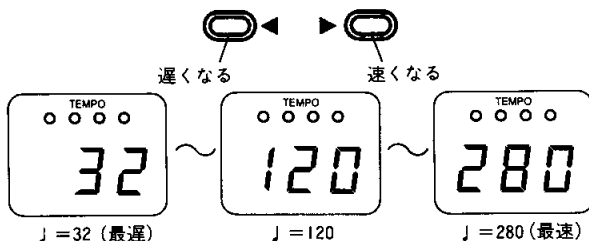
②リズムボリュームを調節します。



★リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあると、リズムの音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、リズムボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。

③リズムの速さを指定します。

テンポ/小節数表示器で1分間の拍数を見ながら設定できますが、曲の速さが楽譜に書かれていない場合など、テンポがあらかじめ判らない時は、④の操作の後、実際に音を聴きながら設定してください。



リズムをスタートさせた後は、拍子ランプの点灯が左から順に、1拍ごとに移動します。

★パワースイッチをオンにした時は、いつもJ=120に戻っています。また、◀ボタンと▶ボタンを同時に押せばJ=120に戻ります。

④リズムをスタートさせます。スタート方法には4種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。
・すぐにスタートさせる場合……スタートボタンを押す。



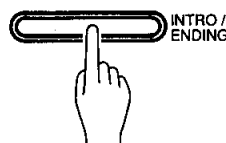
・演奏の開始と共にスタートさせる場合……シンクロスタートボタンを押す。



シンクロスタート待ちの時、拍子ランプの左端(赤)が4分音符のタイミングで点滅して、リズムの速さを示します。

ピアノABC機能(17ページ参照)をオンにした場合は、低音部の鍵盤(スプリットポジションより左側の鍵盤)を押さなければスタートしません。

・イントロのパターンからスタートさせる場合……イントロ/エンディングボタンを押す。



イントロパターンは2小節です。

・フィルインのパターンからスタートさせる場合……フィルインボタンを押して拍子ランプの2拍目を点灯させた後、スタートまたはシンクロスタートにより、リズムをスタートさせる。



フィルインのパターンは1小節です。

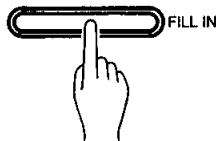
★レフトペダルファンクション(7ページ参照)の設定をスタート/ストップにすれば、レフトペダルを踏むことによりリズムをスタートできます。

★レフトペダルファンクションの設定をイントロ/エンディングにすれば、レフトペダルを踏むことにより、リズムをイントロのパターンからスタートできます。

★演奏中にシンクロスタートボタンを押すとリズムが止まり、演奏の再開と共にリズムが再びスタートします。ブレイクの時に便利です。

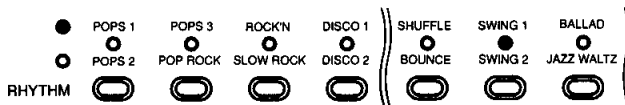
★リズムを鳴らすと、演奏音の同時発音数は12音になります。

⑤フィルインを使ってみましょう。



★フィルインは、最長で1小節です(押すタイミングで長さが異なります)。また、押し続けるとフィルインのパターンが繰り返されます。
★レフトペダルファンクションの設定をフィルインにすれば、レフトペダルを踏むことによりフィルインを入れることができます。

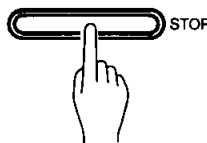
⑥演奏中、別のリズムに切り替えることもできます。



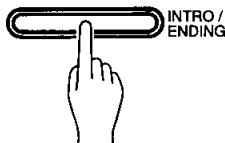
★リズムを切り替えても、切り替え前のリズムのテンポが維持されます。

⑦リズムを停止させます。停止方法には2種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

・すぐに停止させる場合……ストップボタンを押す。



・エンディングのパターンで停止させる場合……イントロ/エンディングボタンを押す。



エンディングパターンは2小節です。小節の前半でボタンを押した時はその小節からエンディングが入り、後半で押した時は次の小節から入ります。

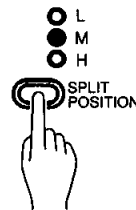
★レフトペダルファンクションの設定をスタート/ストップにすれば、レフトペダルを踏むことによりリズムを停止できます。

★レフトペダルファンクションの設定をイントロ/エンディングにすれば、レフトペダルを踏むことにより、リズムをエンディングのパターンで停止できます。

6. スプリット演奏をしよう

低音部を弾いた時と高音部を弾いた時に出る音の音色を、異なったものにして演奏できます。音色は自由に指定できます。

①スプリットポジションボタンを押すことにより、低音部と高音部の境を3ポジションの中から指定できます。(9ページの鍵盤イラスト参照)



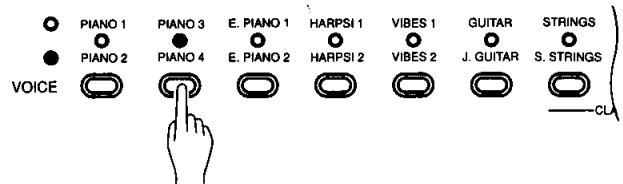
L, M, Hの中で指定できます。(L, M, Hの位置は、鍵盤上部に表記されています。)

②ローオンボタンを押します。



ランプが点灯して、スプリット演奏が可能になります。

③高音部の音色を指定します。

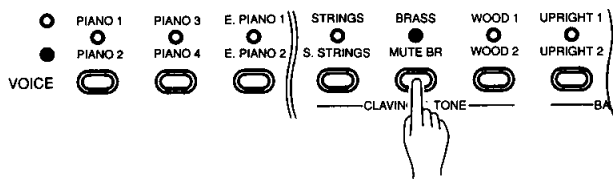


④低音部の音色を指定します。

ローボイスボタンを押しながら、



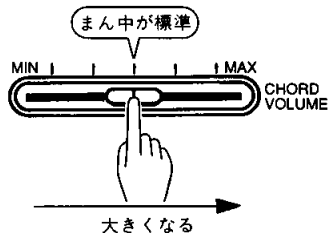
ボイスセレクトボタンを押して指定します。



★ロー-ONの状態になっていないと、この操作はできません。

★低音部の音色にドラムスを指定することはできません(ボタンを押しても反応しません)。

⑤低音部の音量を、コードボリュームで調節します。



★コードボリュームが最小(MIN)の位置にあると、低音部の音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、コードボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。

★ロー-ONの機能とピアノABCの機能を同時に使うことはできません。

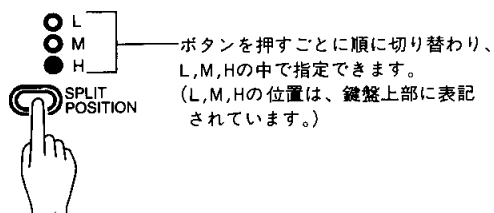
★ロー-ONにすると、低音部の同時発音数が6音、高音部の同時発音数が10音になります。

★パワースイッチをオンにした時は、高音部の音色はピアノ1、低音部の音色はストリングス1に戻っています。またスプリットポジションはMに戻っています。

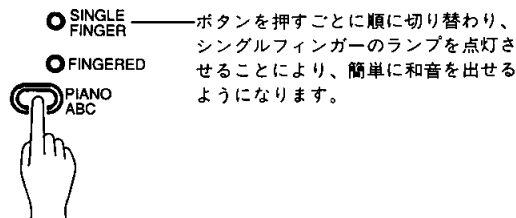
7.和音を指1本で (ピアノABC)

ピアノABCのシングルフィンガー機能を使うと、コードを押さなくても、簡単に和音を鳴らすことができます。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2,3鍵押さえるだけでOKです。和音は低音部の鍵盤を使って鳴らします。

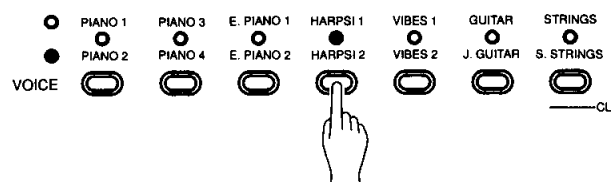
①スプリットポジションボタンを押すことにより、低音部(左手和音)と高音部(右手メロディー)の境を、3ポジションの中から指定できます。



②ピアノABCボタンを押してシングルフィンガーのランプを点灯させます。



③高音部の音色を指定します。

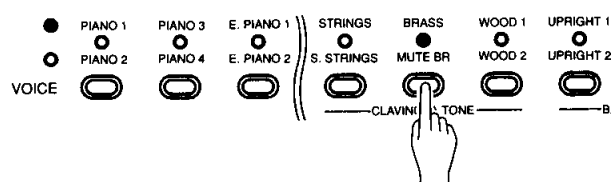


④低音部を弾いた時に発音される和音の音色を指定します。

コードボイスボタンを押しながら、



ボイスセレクトボタンを押して指定します。



(この操作の最中だけ、指定した和音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

★和音の中には付加音も含まれていますが、ここで指定できるのは和音の主要音色のみです。

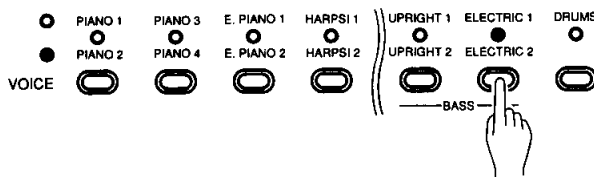
★和音の音色にドラムスを指定することはできません(ボタンを押しても反応しません)。

⑤低音部を弾いた時に発音されるベース音の音色を指定します。

ベースボイスボタンを押しながら、



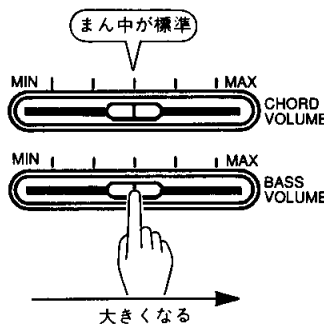
ボイスセレクトボタンを押して指定します。



(この操作の最中だけ、指定した和音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

★ベース音の音色にドラムスを指定することはできません(ボタンを押しても反応しません)。

⑥和音の音量をコードボリュームで、ベース音の音量をベースボリュームで調節します。



★コードボリュームが最小(MIN)の位置にあると、コード音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、コードボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。ベース音についても同様です。

★リズムを切り替えると④⑤で指定した音色は解除されて、そのリズムに対応する音色になります。

★ピアノABCの状態(ただしリズムはスタートさせない場合)にすると、低音部(和音+ベース音)の同時発音数が7音、高音部の発音数は9音になります。

鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCmの場合なら、



のように押します。

セブンスコードの場合

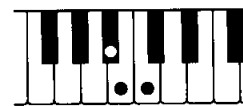
根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC7の場合なら、



のように押します。

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCm7の場合なら、



のように押します。

★コードを変える時、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★上記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

・Maj7(メジャー セブンス)
 ・aug(オーギュメント)
 ・dim(ディミニッシュ) } メジャーコード
 ・6th(シックス)
 ・sus4(サスフォー)

・m7-5(マイナー セブンス フラット ファイブ)
 ・m6(マイナー シックス) } マイナーコード

・7sus4(セブンス サスフォー)
 ・7-5(セブンスフラット ファイブ) } セブンスコード

● シングルフィンガーコード一覧表

検出できるシングルフィンガーコードの一覧表です。
これら以外は、前ページで示したように置き換えて押してください。

メジャーコード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C [♯] /D ^b	
D	
D [♯] /E ^b	
E	
F	
F [♯] /G ^b	
G	
G [♯] /A ^b	
A	
A [♯] /B ^b	
B	

マイナーコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C [♯] m/D ^b m	
Dm	
D [♯] m/E ^b m	
Em	
Fm	
F [♯] m/G ^b m	
Gm	
G [♯] m/A ^b m	
Am	
A [♯] m/B ^b m	
Bm	

セブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C ₇	
C [#] ₇ /D ^b ₇	
D ₇	
D [#] ₇ /E ^b ₇	
E ₇	
F ₇	
F [#] ₇ /G ^b ₇	
G ₇	
G [#] ₇ /A ^b ₇	
A ₇	
A [#] ₇ /B ^b ₇	
B ₇	

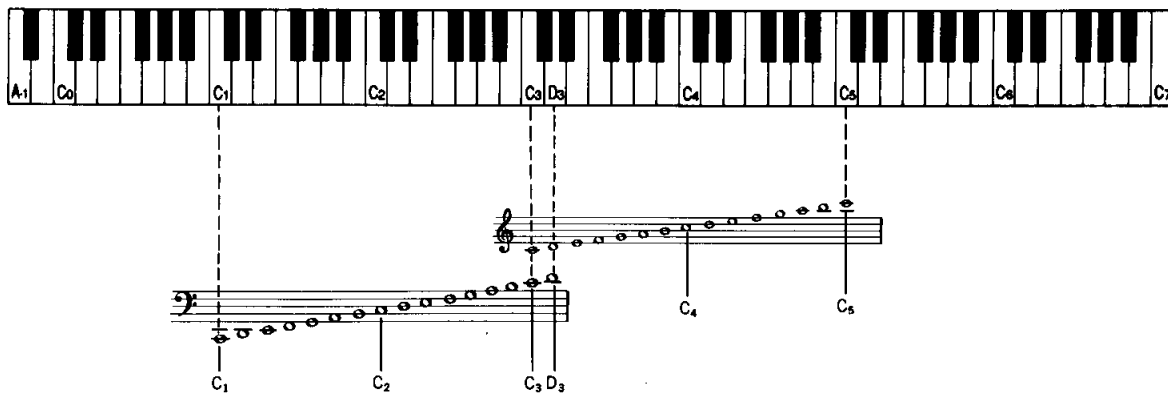
マイナーセブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm ₇	
C [#] m ₇ /D ^b m ₇	
Dm ₇	
D [#] m ₇ /E ^b m ₇	
Em ₇	
Fm ₇	
F [#] m ₇ /G ^b m ₇	
Gm ₇	
G [#] m ₇ /A ^b m ₇	
Am ₇	
A [#] m ₇ /B ^b m ₇	
Bm ₇	

● 楽譜の読み方

■ 鍵盤と五線譜の関係



■ 記号の意味

音符

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
全音符	4つ分のぼす
付点2分音符	3つ分のぼす
2分音符	2つ分のぼす
4分音符	
8分音符	♪ (♪♪ = ♪) 半分にする
16分音符	♪♪♪♪ (♪♪♪♪ = ♪) 1/4にする
3連音符	♪♪♪ 3等分する

(♪♪♪ は ♪ を 3 等分)

休符

休符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
全休符	♪♪♪♪ 4つ分休む
付点2分休符	♪♪♪ 3つ分休む
2分休符	♪♪ 2つ分休む
4分休符	♪ 4分休む
8分休符	♪ (♪♪ = ♪) 半分休む
16分休符	♪♪♪♪ (♪♪♪♪ = ♪) 1/4だけ休む

■ 音符と休符の長さ

記号と読み方	意味
♯ シャープ	半音上げる
♭ フラット	半音下げる
♮ ナチュラル	もとの音にもどす
— タイ	音を続ける
— スラー	なめらかに
◡ フェルマータ	その音をのぼす
Tacet タセット	伴奏を休む
Fine フィーネ	おわり

記号と読み方	意味
: : リピート	くりかえし。
1. : 2. : 1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと「へ」。
D.C. ダカーボ	最初からくりかえし。
D.S. ダルセーニョ	記号からくりかえし。
♯ Coda コーダ	くりかえしのあと ♯ から ♯ Coda へ。

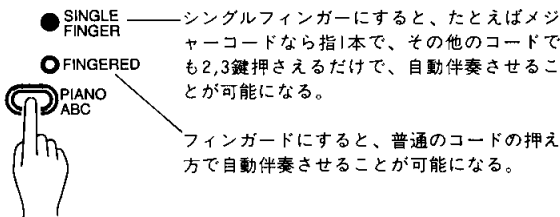
4 ステップ2(活用編 I)

1. ピアノABCで楽々演奏

ピアノABC機能を使って、自動伴奏させてみましょう。自動伴奏は、打楽器によるリズムパート、コードパート、ベースパートから成り立ちます。曲の流れにそって、左手でコードを指定していけばOKです。

①ピアノABCの状態にします。

好みに合わせて、シングルフィンガーか、フィンガードの状態にしてください。



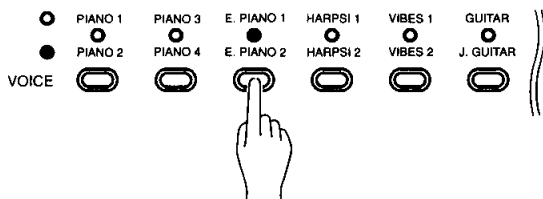
②リズムを選びます。

③スプリットポジションを指定します。

④リズムの速さを指定します。

⑤各パートの音色を指定します。

・高音部(右手の演奏音)の音色を指定する場合……



・コード音(和音)の音色を変更する場合……

コードボイスボタンを押しながら、



ボイスセレクトボタンを押して指定します。(この操作の最中だけ、指定した和音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

・ベース音の音色を変更する場合……

ベースボイスボタンを押しながら、

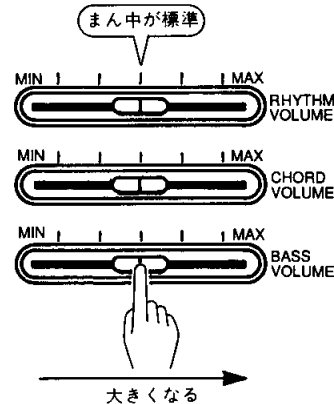


ボイスセレクトボタンを押して指定します。(この操作の最中だけ、指定した和音の音色ランプが点灯します。離すと、高音部の音色ランプの点灯に戻ります。)

※コード音およびベース音の音色は、リズムを選択した時点で自動設定されます。従いまして、ここで変更しなければ自動設定された音色になります。

⑥音量調節

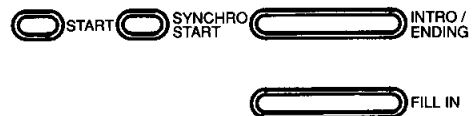
リズム音、コード音、ベース音、それぞれの音量を調節します。



★リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあると、リズム音は出ません。また、マスターボリュームが最小の位置にあると、リズムボリュームを最大にしてもごく小さな音になります。コード音、ベース音についても同様です。

⑦スタート方法の選択

スタート方法を選択します。スタート、シンクロスタート、イントロスタート、フィルインスタートの4つの方法があります。(10ページ参照)



⑧演奏の開始

自動伴奏は、低音部の鍵盤(スプリットポジションより左側の鍵盤)を押した時点でスタートします。

★低音部の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音部の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★シングルフィンガーの場合は、次の4種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(13ページ参照)

- ・メジャー
- ・マイナー
- ・セブンス
- ・マイナー セブンス

★フィンガードの場合は、次の13種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(19~22ページの“フィンガードコード一覧表”を参照)

ただしABCパターンは、メジャー、マイナー、セブンスの3種類のいずれかに補正して発音します。(従って、コードを変えても変化しない場合があります。)

(検出コード) (ABC基本パターン)

- ・メジャー.....メジャー
- ・マイナー.....マイナー
- ・セブンス.....セブンス
- ・マイナー セブンスマイナー
- ・メジャー セブンスメジャー
- ・オーギュメント.....メジャー
- ・ディミニッシュ.....メジャー
- ・シックス.....メジャー
- ・サスフォー.....メジャー
- ・マイナー セブンス フラット ファイブ ...マイナー
- ・マイナー シックスマイナー
- ・セブンス サスフォーセブンス
- ・セブンス フラット ファイブ.....セブンス

★シックス、サスフォー、マイナーシックス、セブンスフラットファイブコードは、基本形で押さえた場合のみ検出されます。

★オーギュメントおよびディミニッシュコードは、押さえた鍵盤の最低音が根音となります。

★13種類のコード以外や押鍵ミスの場合は、正しい和音で出なくなります。

















































★演奏中にシンクロスタートボタンを押すと自動伴奏が止まり、低音部の鍵盤を押すと再びスタートします。ブレークの時に便利です。

④演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。

●フィンガードコード一覧表

ここに示すものは全て基本形です。

メジャー コード	マイナー コード	セブンス コード	マイナー セブンス コード
C 	Cm 	C ₇ 	Cm ₇ 
C [#] (D ^b) 	C [#] m (D ^b m) 	C [#] ₇ (D ^b ₇) 	C [#] m ₇ (D ^b m ₇) 
D 	Dm 	D ₇ 	Dm ₇ 
D [#] (E ^b) 	D [#] m (E ^b m) 	D [#] ₇ (E ^b ₇) 	D [#] m ₇ (E ^b m ₇) 
E 	Em 	E ₇ 	Em ₇ 
F 	Fm 	F ₇ 	Fm ₇ 
F [#] (G ^b) 	F [#] m (G ^b m) 	F [#] ₇ (G ^b ₇) 	F [#] m ₇ (G ^b m ₇) 
G 	Gm 	G ₇ 	Gm ₇ 
G [#] (A ^b) 	G [#] m (A ^b m) 	G [#] ₇ (A ^b ₇) 	G [#] m ₇ (A ^b m ₇) 
A 	Am 	A ₇ 	Am ₇ 
A [#] (B ^b) 	A [#] m (B ^b m) 	A [#] ₇ (B ^b ₇) 	A [#] m ₇ (B ^b m ₇) 
B 	Bm 	B ₇ 	Bm ₇ 

メジャー セブンス コード

オーギュメント コード

ディミニッシュ コード

シックス コード

































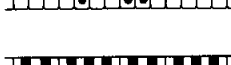







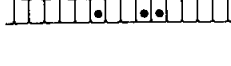

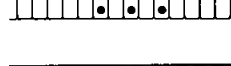



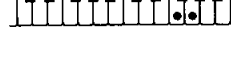

CM ₇		Caug		Cdim		C ₆	
C [#] M ₇ (D ^b M ₇)		C [#] aug (D ^b aug)		C [#] dim (D ^b dim)		C [#] ₆ (D ^b ₆)	
DM ₇		Daug		Ddim		D ₆	
D [#] M ₇ (E ^b M ₇)		D [#] aug (E ^b aug)		D [#] dim (E ^b dim)		D [#] ₆ (E ^b ₆)	
EM ₇		Eaug		Edim		E ₆	
FM ₇		Faug		Fdim		F ₆	
F [#] M ₇ (G ^b M ₇)		F [#] aug (G ^b aug)		F [#] dim (G ^b dim)		F [#] ₆ (G ^b ₆)	
GM ₇		Gaug		Gdim		G ₆	
G [#] M ₇ (A ^b M ₇)		G [#] aug (A ^b aug)		G [#] dim (A ^b dim)		G [#] ₆ (A ^b ₆)	
AM ₇		Aaug		Adim		A ₆	
A [#] M ₇ (B ^b M ₇)		A [#] aug (B ^b aug)		A [#] dim (B ^b dim)		A [#] ₆ (B ^b ₆)	
BM ₇		Baug		Bdim		B ₆	

サスフォー コード

マイナー セブンス フラット
ファイブ コード

マイナー シックス コード

セブンス サスフォー
コード

Csus ₄		Cm ₇ ⁻⁵		Cm ₆		C ₇ sus ₄	
C [#] sus ₄ (D ^b sus ₄)		C [#] m ₇ ⁻⁵ (D ^b m ₇ ⁻⁵)		C [#] m ₆ (D ^b m ₆)		C [#] ₇ sus ₄ (D ^b ₇ sus ₄)	
Dsus ₄		Dm ₇ ⁻⁵		Dm ₆		D ₇ sus ₄	
D [#] sus ₄ (E ^b sus ₄)		D [#] m ₇ ⁻⁵ (E ^b m ₇ ⁻⁵)		D [#] m ₆ (E ^b m ₆)		D [#] ₇ sus ₄ (E ^b ₇ sus ₄)	
Esus ₄		Em ₇ ⁻⁵		Em ₆		E ₇ sus ₄	
Fsus ₄		Fm ₇ ⁻⁵		Fm ₆		F ₇ sus ₄	
F [#] sus ₄ (G ^b sus ₄)		F [#] m ₇ ⁻⁵ (G ^b m ₇ ⁻⁵)		F [#] m ₆ (G ^b m ₆)		F [#] ₇ sus ₄ (G ^b ₇ sus ₄)	
Gsus ₄		Gm ₇ ⁻⁵		Gm ₆		G ₇ sus ₄	
G [#] sus ₄ (A ^b sus ₄)		G [#] m ₇ ⁻⁵ (A ^b m ₇ ⁻⁵)		G [#] m ₆ (A ^b m ₆)		G [#] ₇ sus ₄ (A ^b ₇ sus ₄)	
Asus ₄		Am ₇ ⁻⁵		Am ₆		A ₇ sus ₄	
A [#] sus ₄ (B ^b sus ₄)		A [#] m ₇ ⁻⁵ (B ^b m ₇ ⁻⁵)		A [#] m ₆ (B ^b m ₆)		A [#] ₇ sus ₄ (B ^b ₇ sus ₄)	
Bsus ₄		Bm ₇ ⁻⁵		Bm ₆		B ₇ sus ₄	

セブンス フラット ファイブ
コード



練習曲 I

THE LOCO-MOTION

作曲 : Carole King & Gerry Goffin

ロコモーション

ピアノABC(自動伴奏機能)を使って、懐かしのアメリカンポップスの名曲にチャレンジ。

セッティング

リズム	ROCK'N	リズム ボリューム	
テンポ	120	コード ボリューム	
ピアノABC	FINGERED	ベース ボリューム	
スプリット ポジション	M		

©1962 by Screen Gems-EMI Music Inc.
Rights for Japan controlled by TOSHIBA-EMI MUSIC PUBLISHING CO., LTD.

軽快に
♩ = 120

メロディー

フィンガード
コード

INTRO

First system of musical notation. Treble clef, bass clef, key signature of one flat. Treble staff: Melody with slur and fermata over measures 1-2. First ending bracket labeled "1." over measures 3-4. Bass staff: Accompaniment chords.

FILL IN

Second system of musical notation. Treble clef, bass clef, key signature of one flat. Treble staff: Melody with slur and fermata over measures 1-2. Second ending bracket labeled "2." over measures 3-4. Bass staff: Accompaniment chords.

Third system of musical notation. Treble clef, bass clef, key signature of one flat. Treble staff: Melody with slur and fermata over measures 1-2. First ending bracket labeled "1." over measures 3-4. Bass staff: Accompaniment chords.

Fourth system of musical notation. Treble clef, bass clef, key signature of one flat. Treble staff: Melody with slur and fermata over measures 1-2. First ending bracket labeled "1." over measures 3-4. Bass staff: Accompaniment chords.

Fifth system of musical notation. Treble clef, bass clef, key signature of one flat. Treble staff: Melody with slur and fermata over measures 1-2. First ending bracket labeled "1." over measures 3-4. Bass staff: Accompaniment chords.

ENDING

● 転回テクニックで楽々演奏

19ページの“フィンガードコード一覧表”で見ても解るように、コード名の頭の大文字がほとんど最低音になって載っています。このように大文字、つまり専門用語で“ルート”とか“根音”と呼ばれる音を最も低い音にしたカタチをコードの“基本形”といいます。

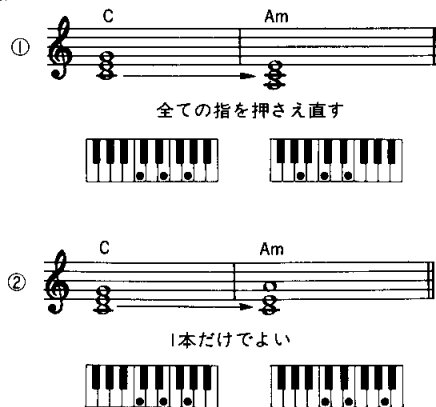
これに対し、音の積み重ねの順番を少し変えたものを“転回形”といいます。たとえば、Cメジャーコードを例にとると基本形は“ドミソ”ですが、〈例1〉のように、それを転回して“ミソド”と弾いても、“ソドミ”と弾いても、Cメジャーコードには変わりありません。

〈例1〉



このような転回ワザを身につけると、響きを楽しめるのと同時に、ピアノABC機能を使う時、演奏が楽になります。たとえば〈例2〉を見てください。①の方はCコードもAmコードも基本形ですが、CからAmに移る際“ドミソ”から“ラドミ”と変えなければいけないため、全ての指を押さえ直さなければなりません。次に②の方を見てください。こちらはAmコードに転回ワザを加えたものです。ソを押さええている指1本をとなりに動かすだけで、簡単にコードを変えることができます。

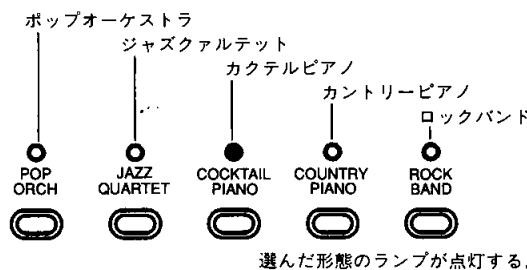
〈例2〉



2. ソロスタイルでパフォーマンス (ソロスタイルプレイ)

5つの演奏形態の中から好みの形態を選び、瞬時にセットアップして演奏できる機能です。選択によりリズムの種類や各パートの音色が自動的にセットアップされると共に、ピアノABCの状態になります。なお、この機能を使った場合は右手の演奏が単音に制限されますが、逆にその音色は厚みのある音色になり、また自動的にハーモニーが加わります。さあ、ソロスタイルでパフォーマンスしましょう。

①演奏形態を選びます。



②必要に応じて……

次の各変更が可能です。

- ・リズムを変更する。
- ・リズムを鳴らすのをやめる。
- ・スタート方法を変更する。
- ・コード音、ベース音、右手の演奏音の音色を変更する。
- ・左手をシングルフィンガーで弾くか、フィンガードで弾くかを指定する。……など

③演奏の開始

リズムを鳴らすのをやめていなければ、低音部の鍵盤を押すと自動伴奏がスタートします。

④演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。

★レフトペダルファンクションの設定をソロスタイルプレイにすると、レフトペダルを踏んでいる間のみ、高音部の演奏音が厚みのある音になります。

★リズム、コード、ベース、全体の音量を、それぞれのボリュームで調節できます。

★ソステヌートをかけることはできません。

★ピアノABCをOFFにすることはできません。

★パフォーマンスメモリーに録音した内容を、同時に再生することはできません。

★演奏の際、鍵盤から指を離さないで動かすと、正確に鳴らないことがあります。

鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

3.自分の演奏を録音(パフォーマンスメモリー)

自分の演奏を録音できます。録音できるのはリズムをスタートさせてから停止させるまでの間です。

3つのトラックがありますが、トラックの使い方は自由です。それぞれのトラックに異なった曲を録音することもできますし、1曲をいくつかの演奏パートに分けて、トラック1にはギター之音のパートを、2にはブラスのパートを……、というように多重録音することもできます。

録音

①リズムの選択

録音する曲に合ったリズムを選んでください。

②必要に応じて……

- ・ピアノABC機能を使う場合には、シングルフィンガー/フィンガードの指定をします。
 - ・ローオン機能を使う場合には、ローオンボタンをオンにします。
 - ・スプリットポジションを指定します。
- ※ピアノABC機能とローオン機能を同時に使うことはできません。

③音色の指定

- ・ピアノABC機能を使う場合 ……………
コード音、ベース音、高音部の各音色を指定できます。
- ・ローオン機能を使う場合……………
低音部、高音部の各音色を指定できます。
- ・どちらの機能も使わない場合……………
演奏音の音色を指定できます。

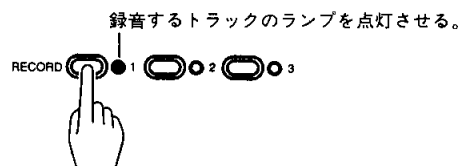
④音量の調節

- ・ピアノABC機能を使う場合 ……………
リズム音、コード音、ベース音の各音量調整ができます。
- ・ローオン機能を使う場合……………
低音部、リズム音の各音量調整ができます。
- ・どちらの機能も使わない場合……………
リズム音の音量調整ができます。

★マスターボリューム調整による全体の音量については、記憶されません。演奏しやすい音量にすればOKです。

⑤トラックの選択

録音するトラックのレコードボタンを押します。すると、4分音符のタイミングでカウント音が鳴り始めます。この状態でシンクロスタート待ちの状態です。



★カウントの音量はリズムボリュームに連動します。従って、リズムボリュームが最小(MIN)の位置にあるとカウント音は鳴りません。

⑥テンポ調整

カウント音を聴きながら調節できます。

⑦必要に応じて……

シンクロスタートをやめて、スタートやイントロスタートに変更することもできます。変更する場合、それぞれのボタンを押しますが、ボタンを押した時点から録音が始まります。

⑧演奏の開始

シンクロスタートの場合には、演奏を開始した時点から録音が始まります。

⑨必要に応じて……

演奏の途中でリズムやテンポ、音色などを変更したり、フィルインを入れたり、ピアノABC機能やローオン機能をオン/オフすることができます。これらの操作も記録されます。

⑩演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。リズムが止まった時点で録音終了です。

録音が終了すると、



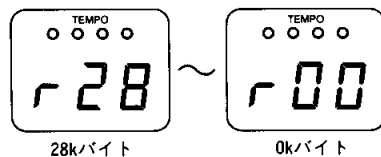
録音していたトラックのランプが消えて、プレイバックボタンのランプが点灯します。(つまり、自動的に再生待ちの状態になります。)

★録音していたトラックのレコードボタンを押して、録音を終了させることもできます。この場合は、プレイバックボタンのランプは点灯しません。

★記録内容は次のとおりです。なお、録音中に設定を変えた場合、実際にそのタイミングで記録されます。

- ・鍵盤情報
- ・音色選択(ピアノABCの場合はコード音、ベース音の音色、ローオンの場合は低音部の音色選択も含む)
- ・リズム選択、テンポ
- ・スタート、イントロ、フィルイン、エンディング、ストップ
- ・ピアノABCのオン/オフ
- ・シングルフィンガー/フィンガードの切り替え
- ・スプリットポジション
- ・ローオン/オフ
- ・ペダル操作(ダンパー、ソフト、ソステヌート)
- ・レフトペダルファンクションの切り替え
- ・ピアノABCの場合はリズムボリューム、コードボリューム、ベースボリューム
- ・ローオンの場合はリズムボリューム、コードボリューム(低音部の音量)

★3トラック合計で約5,000音符まで録音できます。なお、バイト数にしてこれは31kバイトですが、レコードボタンを押した時、残りバイト数が28kバイトから0kバイトの範囲で、次のように表示されます。



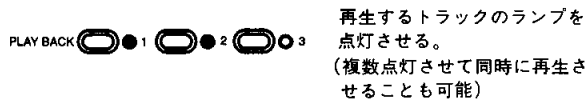
★録音した内容は、電源を切っても約1週間記憶され続けます。保存する場合は、最低1週間おきに30分以上電源を入れるようにしてください。

★録音済みのトラックに再録音すると、録音が始まった時点で前の内容が消えます。

再生

①トラックの選択

再生するトラックのプレイバックボタンを押します。すると再生待ちの状態になります。



②再生の開始

スタートボタンを押すと、すぐに再生が始まります。またイントロ/エンディングボタンを押してイントロパターンを付けて再生させたり、シンクロスタートボタンを使って押鍵と同時に再生させることができます。

★イントロスタートさせた場合、最初の2小節間はコード音が再生されません。

③音量の調節

各音量を調節できます。



④必要に応じて……

再生音に合わせて、音色を指定し他のパートを演奏することも可能です。

⑤再生の終了

最後まで再生されると自動的に停止しますが、途中でストップボタンやイントロ/エンディングボタンを押して終了させることも可能です。

★再生終了後、再び再生待ちの状態になります。再生待ちを解除する時は、そのトラックのプレイバックボタンを押して、ランプを消灯させてください。

★テンポやリズムの種類を変えて再生させたり、フィルインを入れることも可能です。

★同時に複数のトラックを再生させた場合は、一番若い番号のトラックのリズムが採用されます。ただし、再生を開始させてから若い番号のトラックをオンした場合は、無視されます。

★リズムで4音使うため、同時発音数は演奏と再生音合わせて残り12音です。

多重録音

多重録音は、もともとレコード制作の世界から生まれたテクニックです。まず最初にリズムを決めてトラック1に“基本にするパート”を録音。次にそれを再生しそれに合わせてトラック2に別のパートを録音。さらにトラック3にも……。これで完了です。最後に全てを一斉に再生できますから、あたかも大勢で一度に演奏しているように聞こえます。

4. パネル上の設定を記憶

(レジストレーション)

パネル上の各設定を1セットにして記憶させておくことができます。これにより、好みの状態を瞬時に呼び出せます。

記憶

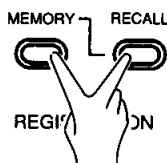
① パネル設定をします。

記憶内容は次のとおりです。

- ・音色の選択
- ・リズムの選択
- ・テンポ
- ・ピアノABC/ローオン/ソロスタイルの状態
- ・スプリットポジション
- ・コード音の音色選択
- ・ベース音の音色選択
- ・ローの音色選択
- ・レフトペダルファンクションの選択
- ・リズムボリューム、コードボリューム(ローボリューム)、ベースボリューム
- ・リバーブ切替スイッチの効果選択

② 記憶させます。

メモリーボタンを押しながら、リコールボタンを押します。これで記憶完了です。

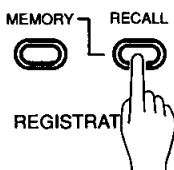


★記録した内容は、電源を切っても約1週間記憶され続けます。保存する場合は、最低1週間おきに30分以上電源を入れるようにしてください。

★記録し直すと、前の内容が消えます。

呼び出し

リコールボタンを押します。



練習曲 II

オリビアを聴きながら

作詞・作曲：尾崎亜美

パフォーマンスメモリー機能を活用して、サウンドを豊かにして弾いてみよう。

セッティング

リズム	16 BEAT 2	リズム ボリューム	
テンポ	70	コード ボリューム	
ピアノABC	FINGERED	ベース ボリューム	
スプリット ポジション	M		

パフォーマンスメモリーに、フィンガードコードとオブリガードを記憶させて弾いてみましょう(26ページ参照)。

まず、トラック1にコード進行(フィンガードコードのパート)を記憶させます。次に、トラック2にオブリガードを記憶させます。そして、それらを再生しながらメロディーを弾きます。

ゆったりと **INTRO** 音色: STRINGS

♩ = 70

オブリガード

メロディー

フィンガードコード

G (1×休み) Dm E7

おきにいのう た ひとり きーてみるの
ジャズミンテーは ー ねむ り さそうくすり

FILL IN

Am Cm F7 B♭ A7 D

ー オリビアはさみしいころ なぐさめてくれるかー
ー わたしらしくいちにちを ー おえた い こんなよるー

C D7 Bm7 Em Am D7 G

であったころは— こんな—ひが— くとはおもわ—ず に い た

C D7 B7 Em Cm7^{#(b5)} D7

Making good things better いいえ すんだ—こと— ときを— かせね— ただけ— つか

ENDING

Em EmonD# Em7onD Cm7^{#(b5)} Am7 D7 G

れ はてた— あな た わたしの— まぼ ろしを— あいしたの— —

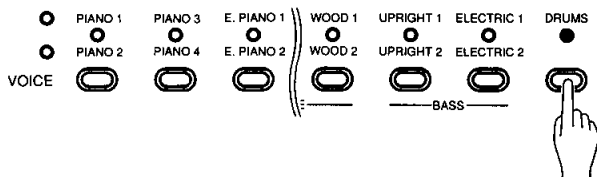
5 ステップ3(活用編II)

1. 打楽器を担当してしまおう

23種類の打楽器音を使い、打楽器を担当することができます。鍵盤に各打楽器が割り付けられていますので、鍵盤を押すことにより音を出すことができます。他の楽器とアンサンブルをしたり、リズムをさらに凝ったものにすることができます。

① ボイスセレクトボタンのドラムスを押します。

ランプを点灯させる。



② 演奏します。

F[#]4 ~ F[#]6の鍵盤に各打楽器が割り付けられていますので、目的の鍵盤を押して演奏します。

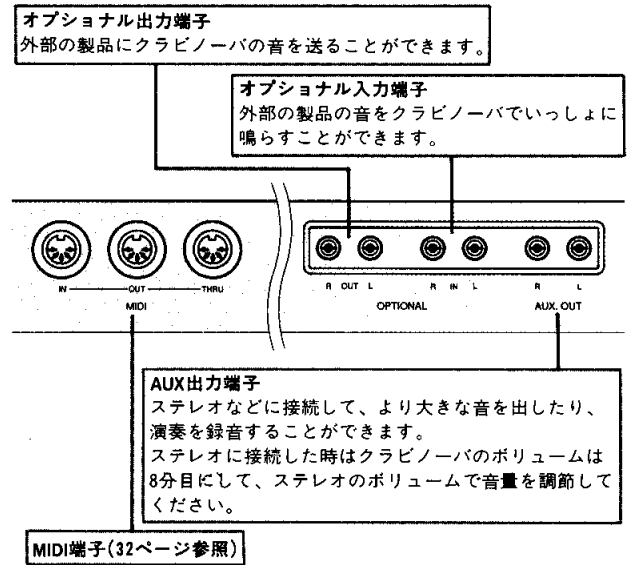
リムショット	ハイハット(クローズ)	ハイハット(オープン)	ライドシンバル	クラッシュシンバル	カバサ	カウベル	タンバリン	トライアングル(クローズ)	トライアングル(オープン)
バスドラム	スネアドラム(ノーマル)	スネアドラム(シンセ)	ロータム(ノーマル)	ミッドタム(シンセ)	ハイタム(シンセ)	コンガ(ロー)	コンガ(ハイ)	ティンバール(ハイ)	メトロノーム

- ・(ノーマル)は、アコースティックドラムを意味します。
- ・(シンセ)は、シンセサイザードラム(エレクトロニックドラム)を意味します。
- ・メトロノームは、リムショットと同じ音色です。

★ロワーやベース音、コード音にドラムスの音色を指定することはできません。

2. 他の機器と接続するには?

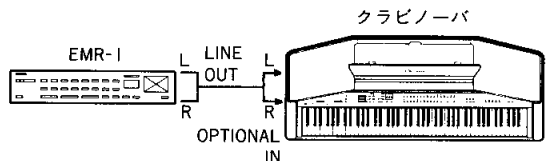
リアパネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。



MIDI端子(32ページ参照)

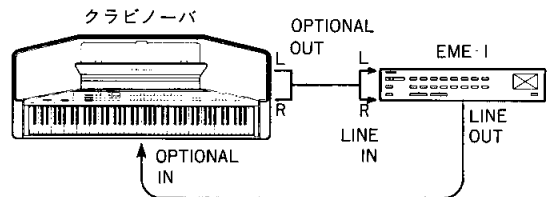
接続例1

ヤマハ・デジタルドラムスEMR-1のリズムを、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らす。EMR-1では、クラビノーバに内蔵されているリズムよりも、さらに凝った設定ができるようになっています。



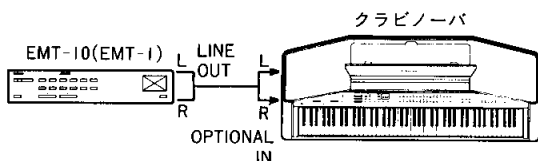
接続例2

ヤマハ・デジタルリバーブEME-1を接続することにより、クラビノーバに内蔵されているリバーブとは異なった様々な響きを得ることができます。EME-1には12種類の様々な効果が内蔵されており、曲の雰囲気合った効果を選ぶことができます。



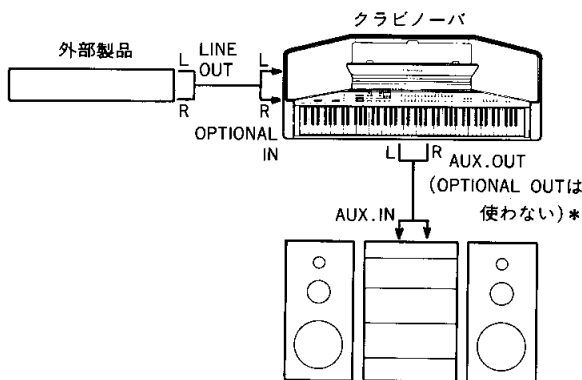
接続例3

ヤマハ・AWMサウンドエクスペンダーEMT-10やFMサウンドエクスペンダーEMT-1の音を、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らす。サウンドをさらに厚みのあるものにできます。



接続例4

オプション入力端子から入力した外部製品の音と、クラビノーバの音をまとめてステレオで鳴らす。



* AUX. OUTでなくOPTIONAL OUTを使うと、外部製品の音がステレオで鳴らなくなってしまう。

3.MIDI機能でステップアップ

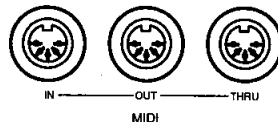
クラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

MIDIとは?

MIDIという言葉はミュージカル・インストルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、「ミディ」と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

本機のMIDI端子

本機には、次のように3種類のMIDI端子があります。(どのMIDI製品を見ても、実はこの3種類以外にはMIDI端子はありません。)



MIDI OUT(メディアアウト)

クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

MIDI IN(メディアイン)

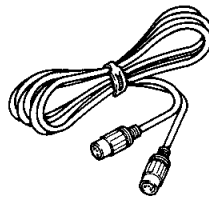
他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

MIDI THRU(メディアスルー)

クラビノーバのMIDI IN端子から入力した演奏内容等が、そのまま出力されます。(つまり、さらに別の製品にも同じ内容を送ることが可能)

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル(MIDI-15: 15m) ¥3,000
(MIDI-03: 3m) ¥1,100



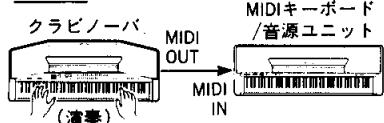
MIDIでできること

「MIDIでどんなことができるか?」、それは接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品が共通して持っているMIDI機能に関して、やりとりできる可能性があります。

MIDI製品と一口にいても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。

★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。

★この他に下記のように情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。

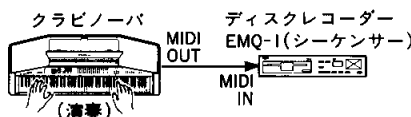
- ・ペダルを操作した時……ペダルを踏んだ/離れたを意味する情報を出力
- ・パネルデータの送信機能を使った時、またはパネルデータ・バルクダンプリクエストを受信した時……パネル上の設定状態等を出力
- ・レジストレーション/パフォーマンスデータの送信機能を使った時、またはレジストレーション/パフォーマンスデータ・バルクダンプリクエストを受信した時……レジストレーションの設定内容および録音内容を出力

※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション入力端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

※32および39ページで紹介するAWMサウンドエキスパンダーEMT-10、FMエキスパンダーEMT-1も音源ユニットに含まれます。音源ユニットは簡単にいうと、キーボードから鍵盤を除いたもの(=音源まわりを残したもの)だと思ってください。

◆MIDIシーケンサーを接続した場合



★クラビノーバで演奏する内容、もしくはすでにクラビノーバに録音済みの内容を、ディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)に記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容や録音内容を記録すれば、3トラックという録音(以下記録といいます*)の制限枠がな

くなります。もちろんクラビノーバに保存した場合と同様に、後でそれを自由に再生できます。

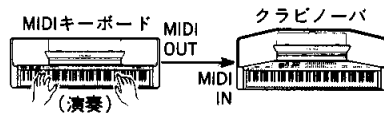
*ここで一つお断りしておきますが、パフォーマンスメモリーに演奏内容を保存させることを他の項では録音と言っていますが、厳密に言えばこれも記録です。(他ではこの違いがあまり問題とならないのと同時に、一般的には録音という言葉の方が受け入れられやすいため、あえてこのようにしています。)さらに詳しく言えば、演奏内容を保存させることができる機械にテープレコーダーがありますが、この場合は音そのものを保存させるわけですから録音です。

それに対し、パフォーマンスメモリーやシーケンサーに保存させるのは音そのものではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを保存するため、こちらは記録です。事実、シーケンサーを再生する時には音を出す製品(MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの)を組み合わせてなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。

★音色の切替情報や様々なイクスクリューシブ情報(36ページ参照)を記録できます。(前項の“MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合”で紹介した情報全て、およびその他)

MIDI IN端子を使ってできること

◆MIDIキーボードに接続した場合



★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。

★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。

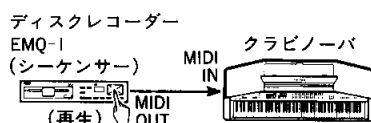
★この他に下記のような情報を入力してクラビノーバをコントロール可能です。

- ・ペダル効果をコントロールする情報
- ・パネルデータバルクダンプリクエスト情報
- ・レジストレーションの情報

※MIDIとは直接関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション入力端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

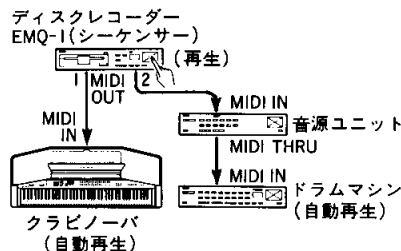
◆MIDIシーケンサーに接続した場合



★ディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)に記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。

MIDI THRU端子の使い方

MIDI THRU端子はシステム接続する時に便利です。MIDI THRU端子を使った接続として、たとえば次のようなシステムが考えられます。



★これは、ディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)の再生クロックに合わせてクラビノーバも再生させ、シーケンサー内の演奏データは音源ユニットで鳴らすという自動演奏システムです。さらにドラムマシンにより、リズムを加えています。

※この図では、アンプやスピーカーを省略してあります。

MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。(設定しなくてもたまたま動くこともありますが……)

◆MIDIチャンネルの設定

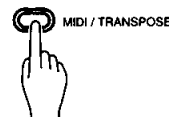
MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり(テレビの場合は1から62ですね)、ほとんどのMIDI情報*に“これは〇〇チャンネルに対するものだ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつものチャンネルの情報が次々に出力されます。そしてそれらは1本のMIDIケーブルの中をいっしょに流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、それらの中から必要なチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。

そして、最も一般的な接続であるMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。

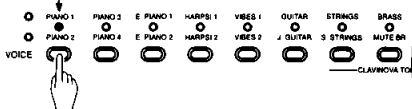
*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

送信チャンネルの設定方法

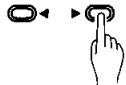
①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、



②ピアノ1/2ボタンを押します。そして、ピアノ1/2ボタンだけを離します。
ランプが点灯する。



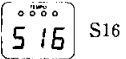
③MIDI/トランスポートボタンを押した状態で、テンポ調節ボタンを押して、テンポ/小節数表示器に希望するチャンネルNo.を表示させます。



・送信チャンネル1にする場合



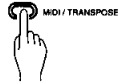
・送信チャンネル16にする場合



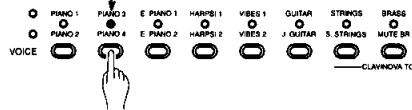
★パワースイッチをオンにした時は、必ず送信チャンネル1となっています。

受信チャンネルの設定方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、



②ピアノ3/4ボタンを押します。そして、ピアノ3/4ボタンだけを離します。
ランプが点灯する。



③MIDI/トランスポートボタンを押した状態で、テンポ調節ボタンを押して、テンポ/小節数表示器に希望するチャンネルNo.を表示させます。



・オムニオン+受信チャンネル1にする場合



・オムニオフ+受信チャンネル1にする場合



・オムニオフ+受信チャンネル16にする場合



★パワースイッチをオンにした時は、必ずオムニオン+送信チャンネル1となっています。

※オムニオンは、チャンネル設定に関係なく、どのチャンネルメッセージ(鍵盤、ペダル、音色スイッチ等)でも受信する状態です。

ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態にすると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。

つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

オン/オフの切替方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
②エレクトリックピアノ1/2ボタンを押します。

- ・ローカルコントロールオフにする場合……エレクトリックピアノ1/2のランプを点灯させる。
- ・ローカルコントロールオンに戻す場合……エレクトリックピアノ1/2のランプを消灯させる。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずローカルコントロールオンとなっています。

プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態にすると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わりません。

つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合(他の機器と音色切替を連動させたくない場合)には、プログラムチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
②ハープシコード1/2ボタンを押します。

- ・プログラムチェンジオフにする場合……ハープシコード1/2のランプを点灯させる。
 - ・プログラムチェンジオンに戻す場合……ハープシコード1/2のランプを消灯させる。
- ★パワースイッチをオンにした時は、必ずプログラムチェンジオンとなっています。

コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態にすると、クラビノーバでペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれに応じなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
②バイブス1/2ボタンを押します。

- ・コントロールチェンジオフにする場合……バイブス1/2のランプを点灯させる。
- ・コントロールチェンジオンに戻す場合……バイブス1/2のランプを消灯させる。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずコントロールチェンジオンとなっています。

マルチティンバーモードオン/オフの切替

マルチティンバーモードオンという状態にすると、チャンネル1~10および15のチャンネルの情報を、同時に受信できるようになります。(チャンネル15はリズム専用です。)

たとえばディスクレコーダーEMQ-1(MIDIシーケンサー)に記録されている複数のチャンネルの演奏情報をクラビノーバに受信させ、それぞれの音色で同時に鳴らしたい時に、マルチティンバーモードオンにします。

マルチティンバーモードオンにすることにより、次の表のように情報を受信できます。

	CH 1	CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	CH 6	CH 7	CH 8	CH 9	CH 10	CH 15
初期音色	ピアノ1	エレクトリックピアノ1	エレクトリックピアノ2	バイブス1	ギター1	ストリングス1	プラス1	ウッド1	アップライトベース1	ハープシコード1	ノーリズム4拍子
プログラムチェンジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボリューム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サスティン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトペダル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
オールノートオフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ローカルコントロールオン/オフ	設定受信チャンネルで受信可能										

- ・○は受信可能、×は受信不可能を意味します。
- ・各チャンネルに対応する初期音色は上記のとおりですが、プログラムチェンジが送られて来れば、対応する音色が切り替わります。
- ・チャンネル15の情報は本機のリズムが対応(チャンネル15はリズム専用)しますが、プログラムチェンジの0~31, 98, 99でリズム変更が可能です。

初期設定ではノーリズムの4拍子(p=99)になっていますが、これはリズムは鳴らさなくても4拍子のテンポを保持させるためです。3拍子のテンポを保持させる場合はp=98です。p=98および99は他のキーボード等を使ってメモリーしてください。

- ・チャンネル15ではドラムの音色の情報も受け付けます。
- ・マルチティンバーモードオンにすると、受信チャンネルはチャンネル1になります。
- ・マルチティンバーモードオンにすると、ボリュームの設定は最大になります。(シーケンサーに記録した時の音量で再生されます。)

オン/オフの切替方法

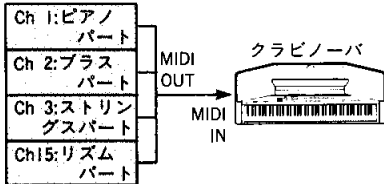
①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
②ギター/ジャズギターボタンを押します。

- ・マルチティンバーモードオンにする場合……ギター/ジャズギターボタンのランプを点灯させる。
- ・マルチティンバーモードオフに戻す場合……ギター/ジャズギターボタンのランプを消灯させる。

★クラビノーバを送信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★マルチティンバーモードの代表的な使用例は次のとおりです。

ディスクレコーダーEMQ-1
(シーケンサー) (再生)



これらのパートの音をクラビノーバのそれぞれの音色で鳴らす。

つまり(別々のチャンネルで)シーケンサーに記録された様々なパートの演奏を、クラビノーバ1台で再生できます。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずマルチティンバーモードオフとなっています。

★同時に発音できるのは16音(15チャンネルは4音)までです。

EMQ-1への記録手順の例

EMQ-1への送信時(記録時)には、MIDIチャンネルは各パート共に1~16チャンネルの範囲で設定できますが、受信時には1~10および15チャンネルの情報だけを受け付け可能ですので、ご注意ください。(チャンネル15はリズムおよびドラムの音源が対応します。)

ここでは、マルチティンバーモードの代表的な使用例として掲げた上記の図を例に掲げます。

①クラビノーバのMIDI OUT端子とEMQ-1のMIDI IN端子を、MIDIケーブルで接続します。

②EMQ-1にリズムを記録します。(リズムでなく、ドラムの音色を指定して自分でリズムを演奏してもかまいません。)

②-1まず、MIDI送信チャンネルを15にします。

②-2 EMQ-1を記録スタートさせます。

②-3リズムを選んだり、テンポや音量を調整します。(記録はスタートされていますので、素早く行います。)

②-4実際にリズムをスタートさせて記録します。

③MIDI送信チャンネルを1にしたうえで、音色をピアノ1にしてピアノパートを記録します。記録済みのリズムを聴きながら演奏してください。

④同様に、送信チャンネル2でブラスパートを記録します。

⑤同様に、送信チャンネル3でストリングスパートを記録します。

これで完了です。再生時にはクラビノーバをマルチティンバーモードにして、EMQ-1に記録した全てのパートを再生させてください。

◆スプリット送信モードオン/オフの切替

ピアノABCやローオンの状態の時に、スプリット送信モードオンという状態にすると、低音部と高音部の演奏(ノートオン/オフ)情報が、異なったチャンネルNo.で送信されるようになります。

「クラビノーバ上で低音部と高音部を異なった音色で鳴らすばかりでなく、外部の製品側でも

そうしたい。」という場合、スプリット送信モードオンにしてください。

設定方法

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、②ストリングス/シンセストリングスボタンを押します。

・スプリット送信モードオンにする場合……ストリングス/シンセストリングスボタンのランプを点灯させる。

・スプリット送信モードオフにする場合……ストリングス/シンセストリングスボタンのランプを消灯させる。

★低音部の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部の製品のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また高音部の演奏情報は「MIDIチャンネルの設定」のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。

★低音部と高音部の演奏情報を、MIDIシーケンサーに別々のチャンネルで記録することも可能です。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★パワースイッチをオンにした時は、必ずスプリット送信モードオフとなっています。

◆外部クロック/内部クロックの切替

本機のリズムを制御するクロックを選択できます。外部クロックにすると、クラビノーバのリズムの速さが外部のシーケンサーやドラムマシンによってコントロールされるようになり、内部クロックにすると、クラビノーバのリズムの速さはクラビノーバ自身によってコントロールされるようになります。

設定方法

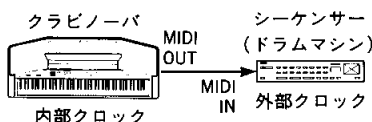
①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

②プラス/ミュートプラスボタンを押します。

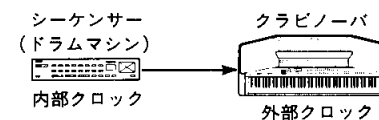
・外部クロックにする場合……プラス/ミュートプラスボタンのランプを点灯させる。

・内部クロックにする場合……プラス/ミュートプラスボタンのランプを消灯させる。

★外部のシーケンサーやドラムマシンの再生スピードを、クラビノーバのリズムの速さに合わせる場合は、次のようにセットしてください。



★クラビノーバのリズムの速さを、外部のシーケンサーやドラムマシンの再生スピードに合わせる場合は、次のようにセットしてください。



★パワースイッチをオンにした時は、必ず内部クロックとなっています。

◆パネルデータの送信

パネル上の設定状態をシーケンサーに記録したり、別のCVP-30のパネル上の設定をクラビノーバに合わせることができます。

シーケンサーに演奏情報を記録する前にパネル情報を記録しておけば、後でシーケンサーを再生した時、自動的にクラビノーバの状態が記録した時の状態に切り替わります。

送信方法

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

②ウッド1(WOOD1)/ウッド2ボタンを押します。すると、すぐに送信が開始されます。ウッド1/2ボタンのランプが消灯した時点で、送信完了です。

◆レジストレーション/パフォーマンスデータの送信

レジストレーション機能を使って記憶させたパネル上の設定と、パフォーマンスメモリー機能を使って記憶させた演奏データを送信させることができます。つまり、これらのデータをシーケンサーに記録したり、別のCVP-30の記憶データをクラビノーバに合わせるすることができます。

送信方法

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

②アップライト1/2ボタンを押します。すると、すぐに送信が開始されます。アップライト1/2ボタンのランプが消灯した時点で、送信完了です。

◆レッスンモードの切替

ディスクレコーダーEMQ-1にエデュケーションシリーズという再生専用ソフトを組み合わせて、それをクラビノーバを使って鳴らす場合のみ関係します。エデュケーションシリーズは左手パートと右手パートを独立させて再生できるソフトです。

このレッスンモード機能は、どちらか片方のパートのみ再生させて、それを聴きながらもう片方を練習できるようにしよう、というものです。

★左手パートはチャンネル1で、右手パートはチャンネル2でやりとりします。

左手再生モードにする場合

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

②B₁の鍵盤を押します。すると、左手再生モードになり、左手パートのみ再生させることが可能になります。

★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル1になります。

右手再生モードにする場合

①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

②A₁の鍵盤を押します。すると右手再生モードになり、右手パートのみ再生させることが可能になります。

★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル2になります。

両手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
- ②B₋₁とA₋₁の鍵盤の両方を押します。すると両手再生モードになり、両パートを再生させることが可能になります。

★このモードにすると、オムニオン+受信チャンネル1になります。

MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読める方はご覧ください。CVP-30のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知るうえで役立つことがあります。

この項では、数値の表現方法として2進数、10進数、16進数の3通りが使われていますので、ご注意ください。原則として、8桁表示のもの(たとえば"1001nnnn"など)は2進数、2桁表示で右側にHの付いたもの(たとえば"9nH"など)は16進数、その他は10進数となっています。

1. 送信データ

1-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン/オフ:

鍵盤を押した時に送信します。またリズムを鳴らしている時および音色をドラムスにして鍵盤を押した時に送信します。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	Okkkkkkk	k=21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

リズムおよびドラムスの場合

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	Okkkkkkk	k=78(RIM SHOT), 79(BASS DRUM), 80(BRUSH), 81(SHARE DRUM NORMAL), 82(HI-HAT CLOSED), 83(ELECTRONIC SNARE DRUM), 84(TOM LOW), 85(HI-HAT OPEN), 86(TOM MID), 87(RIDE CYMBAL), 88(TOM HIGH), 89(ELECTRONIC TOM MID), 90(CRASH CYMBAL), 91(ELECTRONIC TOM HIGH), 92(CABASA), 93(CONGA LOW), 94(COMBELL), 95(CONGA HIGH), 96(TIMBALE LOW), 97(TAMBOURINE), 98(TIMBALE HIGH), 99(TRIANGLE CLOSED), 102(TRIANGLE OPEN)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

②コントロールチェンジ: 各ペダル操作をした時に送信します。

ステータス	1011nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc	c=64(ダンパー), 66(ソステヌート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(オフ), 127(オン)

③プログラムチェンジ: 音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	1100nnnn(CnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo.	0ppppppp	p=0(PIANO 1), 1(PIANO 3), 2(E.PIANO 1), 3(HARPSI 1), 4(VIBES 1), 5(GUITAR), 6(STRINGS), 7(BRASS), 8(WOOD 1), 9(UPRIGHT 1), 10(ELECTRIC 1), 11(DRUMS), 12(PIANO 2), 13(PIANO 4), 14(E.PIANO 2), 15(HARPSI 2), 16(VIBES 2), 17(J.GUITAR), 18(S.STRING), 19(MUTE BR), 20(WOOD 2), 21(UPRIGHT 2), 22(ELECTRIC 2), 23(DRUMS)

1-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

①タイミングクロック:

内部クロックの状態にして、リズムを鳴らしている間送信します。
ステータス 11111000(F8H)

②スタート: リズムをスタートさせた時に送信します。

ステータス 11111010(FAH)

③ストップ: リズムを停止させた時に送信します。

ステータス 11111100(FCH)

④アクティブセンシング: 約200msecごとに1回送信します。

ステータス 11111110(FEH)

◆システムイクスクルーシブメッセージ

①パネルデータバルクダンブ:

パネルデータの送信機能を働かせた時と、パネルデータバルクダンブリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111100(7CH)	
バイトカウント(MSB)	0bbbbbbb	
バイトカウント(LSB)	0bbbbbbb	
バージョンNo.	0bbbbbbb	
データ	0bbbbbbb	
データ	0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111(F7H)	

パネルデータ
(32バイト)

②レジストレーション/パフォーマンスデータバルクダンブ:

レジストレーション/パフォーマンスデータの送信機能を働かせた時と、レジストレーション/パフォーマンスデータバルクダンブリクエストを受信した時に送信します。

ステータス 11110000 (F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011 (43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001 (73H) "クラビノーバ"
 ID No. 00011100 (1CH)
 サブステータス 00000110 (06H) "パルクデータ"
 ヘッダー1 00101001 (41H) ASCII "A"
 バイトカウント (MSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (LSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (MSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (LSB) 0bbbbbbb
 ヘッダー2 00111111 (1F)
 データ 0ddddddd

レジストレーションデータ (32バイト)

データ 0ddddddd
 チェックサム 0eeeeeee
 ヘッダー1 00101001 (41H) ASCII "A"
 バイトカウント (MSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (LSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (MSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (LSB) 0bbbbbbb
 ヘッダー2 0sssssss s=0~30
 データ 0ddddddd

パフォーマンスデータ (2048バイト)

データ 0ddddddd
 チェックサム 0eeeeeee
 ヘッダー1 00101001 (41H) ASCII "A"
 バイトカウント (MSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (LSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (MSB) 0bbbbbbb
 バイトカウント (LSB) 0bbbbbbb
 ヘッダー2 01111111 (7F)
 データ 0ddddddd

インデックスデータ (94バイト)

データ 0ddddddd
 チェックサム 0eeeeeee
 EOX 11110111 (F7H)

③ クラビノーバ共通セットアップデータ (マルチティンバーモードオン) :
 マルチティンバーモードオンの操作をした時に送信します。

ステータス 11110000 (F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011 (43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001 (73H) "クラビノーバ"
 ID No. 00011101 (1DH) "CVP-30"
 データ 00010101 (15H) "マルチティンバーモードオン"
 EOX 11110111 (F7H)

④ クラビノーバ共通セットアップデータ (マルチティンバーモードオフ) :
 マルチティンバーモードオフの操作をした時に送信します。

ステータス 11110000 (F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011 (43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001 (73H) "クラビノーバ"
 ID No. 00000001 (01H) "クラビノーバ共通"
 データ 00010011 (13H) "マルチティンバーモードオフ"
 EOX 11110111 (F7H)

⑤ CVP-30専用セットアップデータ (リズムナンバー変更) :
 リズムを切り替えた時に送信します。

ステータス 11110000 (F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011 (43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001 (73H) "クラビノーバ"
 ID No. 00011100 (1CH)
 サブステータス 01000000 (40H) "リズムNo.変更"
 データ 0ddddddd d=0(POPS 1), 1(POPS 3), 2(ROCK'N), 3(DISCO 1), 4(16BEAT 1), 5(16BEAT 3), 6(SHUFFLE), 7(SWING 1), 8(BALLAD), 9(BOOGIE), 10(BOSSA 1), 11(SAMBA), 12(TANGO), 13(SALSA), 14(MARCH), 15(WALTZ), 16(POPS 2), 17(POP ROCK), 18(SLOW ROCK), 19(DISCO 2), 20(16BEAT 2), 21(COUNTRY), 22(BOUNCE), 23(SWING 2), 24(JAZZ WALTZ), 25(RAGTIME), 26(BOSSA 2), 27(RHUMBA), 28(REGGAE), 29(LATIN POP), 30(CLASSIC), 31(METRONOME), 98(ノーマリズム3/4), 99(ノーマリズム4/4)

EOX 11110111 (F7H)

⑥ CVP-30専用セットアップデータ (リバーブ切替) :

リバーブ切替スイッチを切り替えた時に送信します。

ステータス 11110000 (F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011 (43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001 (73H) "クラビノーバ"
 ID No. 00011101 (1DH) "CVP-30"
 特殊操作子 00010001 (11H)
 チャンネル 0000nnnn (0nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 コントロールNo. 01011001 (59H) "リバーブ"
 コントロール値 0vvvvvvv v=0(OFF), 1(ROOM), 2(HALL 1), 3(HALL 2), 4(COSMIC)

EOX 11110111 (F7H)

⑦ CVP-30専用セットアップデータ (その他) :

各パネル操作をした時に送信します。

ステータス 11110000 (F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011 (43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001 (73H) "クラビノーバ"
 ID No. 00011100 (1CH)
 データ 0ddddddd d=65(FILL IN), 66(INTRO/ENDING), 67(TEMPO UP), 68(TEMPO DOWN), 69(INITIAL TEMPO)

EOX 11110111 (F7H)

2. 受信データ

2-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

① ノートオン/オフ :

ノートNo. によって発音の音程が決まり、ベロシティによって音量および音色が決まります。またリズムおよびドラムについては、ノートNo. によって打楽器音が決まり、ベロシティによって音量が決まります。

ステータス 1001nnnn (9nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 ノートNo. 0kkkkkk k=21(A-1)~108(C7)
 ベロシティ 0vvvvvvv v=0~127(1~127: キーオン, 0: キーオフ)

リズムおよびドラムスの場合

ステータス 1001nnnn (9nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 ノートNo. 0kkkkkk k=78(RIM SHOT), 79(BASS DRUM), 80(BRUSH), 81(SNARE DRUM NORMAL), 82(HI-HAT CLOSED), 83(ELECTRONIC SNARE DRUM), 84(TOM LOW), 85(HI-HAT OPEN), 86(TOM MID), 87(RIDE CYMBAL), 88(TOM HIGH), 89(ELECTRONIC TOM MID), 90(CRASH CYMBAL), 91(ELECTRONIC TOM HIGH), 92(CABASA), 93(CONGA LOW), 94(COWBELL), 95(CONGA HIGH), 96(TIMBALE LOW), 97(TAMBOURINE), 98(TIMBALE HIGH), 99(TRIANGLE CLOSED), 102(TRIANGLE OPEN)

ベロシティ 0vvvvvvv v=0~127(1~127: キーオン, 0: キーオフ)

②ノートオフ：

ノートオフをステータス8nHで送り出す機器との対応のためです。

ステータス 1000nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 ノートNo. 0kkkkkkk k=21(A-1)~108(C7)
 ベロシティ 0vvvvvvv v=無視します

③コントロールチェンジ：メッセージに従って各対応をします。

ステータス 1011nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 コントロールNo. 0ccccccc c=7(ボリューム*), 64(ダンパー),
 66(ソステヌート*), 67(ソフト)
 コントロール値 0vvvvvvv ボリューム v=0(最小)~127(最大)
 ダンパー/ソステヌート/ソフト
 v 0~63(オフ), 64~127(オン)

*ボリュームはマルチティンバーモードオンの時のみ認識します。

*ソステヌートはマルチティンバーモードオフの時のみ認識します。

④プログラムチェンジ：

プログラムNo.によって音色が決まります。なお、指定番号よりプログラムNo.の大きいメッセージは無視します。

ステータス 1100nnnn(CnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 プログラムNo. 0ppppppp p=0(PIANO 1), 1(PIANO 3), 2(E.PIANO 1),
 3(HARPSI 1), 4(VIBES 1), 5(GUITAR), 2),
 6(STRINGS), 7(BRASS), 8(WOOD 1),
 9(UPRIGHT 1), 10(ELECTRIC 1), 11(DRUMS),
 12(PIANO 2), 13(PIANO 4), 14(E.PIANO 2),
 15(HARPSI 2), 16(VIBES 2), 17(J.GUITAR),
 18(S.STRING), 19(MUTE BR), 20(WOOD 2),
 21(UPRIGHT 2), 22(ELECTRIC 2), 23(DRUMS)

◆チャンネルモードメッセージ

メッセージに従って各対応をします。

ステータス 1011nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 コントロールNo. 0ccccccc c=122(ローカルコントロール),
 123(オールノートオフ*),
 124(オムニオフ/オールノートオフ),
 125(オムニオン/オールノートオフ)
 コントロール値 0vvvvvvv ローカルコントロール v=0(オフ), 127(オン)
 ローカルコントロール以外 v=0

*オールノートオフはオムニオフの時のみ認識します。

2-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

①タイミッキングクロック：

外部クロックの状態にした時に受信可能で、これにより同期します。

ステータス 11111000(F8H)

②スタート：受信すると、リズムがスタートします。

ステータス 11111010(FAH)

③ストップ：受信すると、リズムが停止します。

ステータス 11111100(FCH)

④アクティブセンシング：

受信すると、センシングを開始します。その後 400msecの間ステータスもデータもない場合には、発音を強制的に停止させます。

ステータス 11111110(FEH)

◆システムイクスクルーシブメッセージ

①パネルデータバルクダンプリクエスト：

このメッセージを受信すると、パネルデータを送信します。

ステータス 11110000(F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 サブステータス 0010nnnn(2nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 フォーマットNo. 01111100(7CH) ユニバーサルバルクダンプリクエスト
 EOX 11110111(F7H)

②レジストレーション/パフォーマンスデータバルクダンプリクエスト：

このメッセージを受信すると、レジストレーションデータとパフォーマンスデータを送信します。

ステータス 11110000(F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001(73H) "クラビノーバ"
 ID No. 0iiiiiii i=1(スタンダード)
 28, 29(CVP-30)

サブステータス 00000111(07H)
 EOX 11110111(F7H)

③パネルバルクデータ：

このメッセージを受信すると、パネル上の各設定が変わります。データについては、送信データの項を参照。

④レジストレーション/パフォーマンスバルクデータ：

このメッセージを受信すると、レジストレーションとパフォーマンスデータの記憶内容が書き替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑤クラビノーバ共通セットアップデータ：

このメッセージを受信すると、MIDI関係の各設定が変わります。

ステータス 11110000(F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001(73H) "クラビノーバ"
 ID No. 0iiiiiii i=1(スタンダード)
 28, 29(CVP-30)
 データ 0ddddd d=2(内部クロック), 3(外部クロック),
 19(マルチティンバーモードオフ),
 21(マルチティンバーモードオン),
 112(受信チャンネルNo.変更1)
 127(受信チャンネルNo.変更16)
 EOX 11110111(F7H)

⑥CVP-30専用セットアップデータ(リズムナンバ変更)：

このメッセージを受信すると、各リズムに切り替わります。データについては、送信データの項を参照。

⑦CVP 30専用セットアップデータ(リバーブ切替)：

このメッセージを受信すると、リバーブの設定が変わります。データについては、送信データの項を参照。

⑧CVP-30専用セットアップデータ(その他)：

このメッセージを受信すると、各設定が制御されます。

ステータス 11110000(F0H) "システムイクスクルーシブ"
 ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 ID No. 01001001(73H) "クラビノーバ"
 ID No. 0iiiiiii i=28, 29(CVP-30)
 データ 0ddddd d=65(FILL IN), 66(INTRO.ENDING),
 67(TEMPO UP), 68(TEMPO DOWN),
 69(INITIAL TEMPO), 70(HALL 1 REVERB ON),
 71(REVERB OFF),
 80(トラック1プレイボタンオフ),
 81(トラック2プレイボタンオフ),
 82(トラック3プレイボタンオフ),
 96(トラック1プレイボタンオン),
 97(トラック2プレイボタンオン),
 98(トラック3プレイボタンオン),
 EOX 11110111(F7H)

CVP-30

MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1988.7.29

Version: 1.0

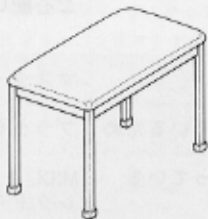
ファンクション…	送 信	受 信	備 考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1チャンネル 1～16チャンネル	1チャンネル 1～16チャンネル	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×	
ノート ナンバー 音域	21～108 *****	21～108 21～108	
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、v=1～127 × 9nH、v=0	○ v=1～127 ×	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー	×	×	
07 64 66 67 コントロール チェンジ	× ○ ○ ○	○ ※1 ○ ○ ※2 ○	ボリューム ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0～23 ※4 *****	○ 0～23 ※3 0～23	
エクスクルーシブ	○	○	
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル クロック タイム コマンド	○ ○	○ ○	
その他 ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×	○ ○ (123～125) ※5 ○ ×	
備 考	※1 マルチティンバーモード・オン時に受信可能 ※2 マルチティンバーモード・オフ時に受信可能 ※3 マルチティンバーモード・オン時に、Ch15で0～31、98、99を受信可能 ※4 マルチティンバーモード・オン時に、Ch15で0～31を送信可能 ※5 123のみオムニ・オフ時に受信可能		

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ ○：あり
 モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ ×：なし

6 資料

1. オプション(別売品)のご紹介

ヘッドホン・HPE-5 ¥5,500 イス・BC-7 ¥8,000



MIDIケーブル・MIDI-15(15m) ¥3,000

MIDIケーブル・MIDI-03(3m) ¥1,100



オーディオ接続コード・PSC-3 ¥1,000



ディスクレコーダー・EMQ-1 ¥39,800



デジタルドラムス・EMR-1 ¥27,700



デジタルリバーブ・EME-1 ¥29,800



AWMサウンドエクスパンダー・EMT-10 ¥46,200



FMサウンドエクスパンダー・EMT-1 ¥27,700



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

クラビノーバ用曲集

クラビノーバ・ファン・シリーズ

使いやすさいっばいの初心者向けの曲集です。

- ・クラビノーバ・ファン Vol.1 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン Vol.2 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル ディズニー名曲集 ¥1,200
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル クリスマス名曲集 ¥1,000

入門書/独習書

- ・クラビノーバによるバイエル伴奏集 ¥1,300
- レッスンから発表会まで、幅広くご活用ください。

キーボードサラダ

最新のヒット曲やスタンダードなどを、やさしくアレンジした曲集です。
一隔月刊偶数月20日発売— 各¥580

ヤマハディスクレコーダー(EMQ-1)専用クラビノーバ・ライブラリー・シリーズ 各¥2,500

クラビノーバ・ライブラリー・シリーズはディスクレコーダー(EMQ-1)とクラビノーバのための曲データソフトです。鑑賞用に、学習用に幅広くご活用いただけます。

エデュケーショナル

エデュケーショナル・シリーズは、左手パートと右手パートを独立して再生できますので、学習用に最適です。

- 1 「バイエルvol.1」 YQE-101T
 曲目/A: No.8, No.16, No.18, No.19, No.21, No.23, No.24
 B: No.29, No.35, No.37, No.41, No.44
- 2 「バイエルvol.2」 YQE-102T
 曲目/A: No.46, No.47, No.48, No.49, No.51, No.52
 B: No.53, No.54, No.55, No.57, No.58, No.60
- 3 「バイエルvol.3」 YQE-103T
 曲目/A: No.62, No.66, No.72, No.73, No.74, No.76
 B: No.77, No.78, No.79, No.80, No.81, No.82
- 4 「バイエルvol.4」 YQE-104T
 曲目/A: No.88, No.89, No.91, No.92, No.93, No.97
 B: No.98, No.99, No.100, No.102, No.104, No.106
- 5 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.1」 YQE-105T
 曲目/A: 正直/アラベスク/牧歌/子供たちのつどい/無邪気
 B: 前進/きれいな流れ/優美/狩
- 6 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.2」 YQE-106T
 曲目/A: やさしい花/せきれい/別れ/なぐさめ
 B: スティリアンヌ/バラード/あまいなげき/おしやべり
- 7 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.3」 YQE-107T
 曲目/A: 不安/アヴェ・マリア/タランテラ/天使の声
 B: 舟歌/家路/つばめ/貴婦人の来島

ピアノ名曲コレクション

- 1 「エリーゼのために」 YQP-101
 曲目/A: エリーゼのために/バッハ/メヌエット/すみれ
 B: 楽しい農夫/ト長のメヌエット/ぼらに寄せて
- 2 「乙女の祈り」 YQP-102
 曲目/A: 乙女の祈り/トロイメライ/春の歌
 B: 人形の夢と目覚め/花の歌/ガボット
- 3 「小犬のワルツ」 YQP-103
 曲目/A: 小犬のワルツ/紡ぎ歌/楽典の時
 B: キラキラ星変奏曲/インベンション1番
- 4 「月の光」 YQP-104
 曲目/A: 月の光/アラベスク
 B: 夢/ゴリウォークのケーキウォーク/小さな黒人

スクリーン・ミュージック

- 1 「ひまわり」 YQS-101
 曲目/A: ひまわり/いそしぎ/追憶
 B: 雨にぬれても/シェルプールの雨傘/愛はきらめきの中に
- 2 「ムーン・リバー」 YQS-102
 曲目/A: ムーン・リバー/シャレード/スティング
 B: 太陽がいっぱい/ある愛の詩/星に願いを

コンテンポラリー・ポップス

- 1 「セイ・ユー・セイ・ミー」 YQC-101
 曲目/A: セイ・ユー・セイ・ミー/ユア・ソング/小さな願い
 B: やさしく歌って/愛のアプレュード/サウンド・オブ・サ
 イレンス

スタンダード・ジャズ

- 1 「マイ・ファニー・バレンタイン」 YQJ-101
 曲目/A: マイ・ファニー・バレンタイン/二人でお茶を/セプテン
 バー・ソング
 B: 9月の雨/ナイト・アンド・デイ/CANDY

2.おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思ったら、この表を見てください。

現象	原因	解決法
パワースイッチをオンまたはオフにした時、“カチ”と音がする	電気が流れたため	ご心配いりません
スピーカーから全く音が出ない	音量が下がっている	マスターボリュームを上げてください
	ヘッドホン端子にプラグを差しているため	プラグを抜いてください
	ローカルコントロールオフになっている	MIDI/トランスポートボタンを押しながら、エレクトリックピアノ1/2ボタンを押してください
リズムがスタートしない/ リズムの音が出ない	外部クロックの状態になっている	MIDI/トランスポートボタンを押しながら、プラス/ミュートプラスボタンを押してください
	リズムボリュームが下がっている	リズムボリュームを上げてください
	スタートさせていない	スタートボタン等を押してください
	シンクロスタート待ちの状態に鳴っている	低音部の鍵盤を押してください
低音部の音が出ない	コードボリュームまたはベースボリュームが下がっている	コードボリュームまたはベースボリュームを上げてください
	高音部側を弾いている	スプリットポジションよりも低音部側で弾いてください
自動伴奏されない	ピアノABCの状態になっていない	ピアノABCボタンを押してシングルフィンガーまたはフィンガードの状態にしてください
	フィンガードの状態で、シングルフィンガーの押さえ方をしている	19ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください
途中から音階がおかしくなる	低音部の鍵盤を押している	シングルフィンガーやフィンガードの状態になっているためですから、そのようになります
思ったとおりの和音が出ない	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている	鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください
	正確に押さえしていない	14ページの“シングルフィンガーコード一覧表” 19ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください
ソロスタイルプレイ機能をオンできない	パフォーマンスメモリーの録音または再生状態になっている	ソロスタイルプレイ機能とパフォーマンスメモリー機能を同時に使うことはできません
左ペダルをソロスタイルプレイ機能にできない	ソロスタイル機能をオンしていない	ソロスタイル機能をオンにした時のみ、選択および機能させることができます
ローオン機能をオンできない	ソロスタイル機能をオンしている パフォーマンスメモリーの再生状態になっている	ローオン機能は、ソロスタイル機能やパフォーマンスメモリー機能をオンしている時、オンできません
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない	同時に鳴らせる音数には制限があります	制限数以上の音は、前の音を消して後の音を鳴らすしくみとなっています
選んでいない音色で鳴る	ピアノABC機能またはローオン機能をオンしている	低音部の音色は高音部の音色と異なります
左側のペダルを踏んでも、ソフト効果がかからない	別の機能になっている	レフトペダルファンクションボタンを押して、ボタン上部のランプが点灯しない状態にしてください
リバーブがかからない部分がある	モードやポジションによってかかり方が決まっている	8ページの表をご覧ください
記憶させておいたデータが消えている	記憶されている期間は、電源を切ってから1週間程度です	記憶させておく場合は、最低1週間おきに30分以上電源を入れるようにしてください

3.仕様

- 鍵盤：88鍵(A₁~C₇)イニシャルタッチ付
- 音色(23種類)：ピアノ1~4、エレクトリックピアノ1~2、ハーブシコード1~2、バイブス1~2、ギター、ジャズギター、ストリングス、シンセストリングス、プラス、ミュートプラス、ウッドウインド1~2、アップライトベース1~2、エレクトリックベース1、2、ドラムス
 ドラムス(打楽器音23種)：バスドラム、スネアドラム(ノーマル、シンセ)、リムショット、ブラッシュ、ハイハット(クローズ、オープン)、ロータム(ノーマル)、ミッドタム(ノーマル、シンセ)、ハイタム(ノーマル、シンセ)、ライドシンバル、クラッシュシンバル、コンガ(ロー、ハイ)、カバサ、カウベル、ティンバル(ロー、ハイ)、タンバリン、トライアングル(クローズ、オープン)、メトロノーム(リムショット)
- 効果：リバーブ、トランスパーザー、ピッチコントロール、ソフト、ソステナート、ダンパー
- リズム(32種類)：ポップス1~3、ポップロック、ロックンロール、スローロック、ディスコ1~2、16ビート1~3、カントリー、シャッフル、バウンス、スウィング1~2、バラード、ジャズワルツ、ブギー、ラグタイム、ボサノバ1~2、サンバ、ルンバ、タンゴ、レゲエ、サルサ、ラテンポップ、マーチ、クラシック、ワルツ、メトロノーム
 コントロール：スタート、シンクロスタート、ストップ、イントロ/エンディング、フィルイン、テンポコントロール、拍子ランプ、テンポ/小節数表示器、リズムボリューム
- ピアノABC：シングルフィンガー、フィンガード、スプリットポジション、コード音色、ベース音色
 コントロール：コードボリューム、ベースボリューム
- ロワーオン：ロワー音色
 コントロール：ロワーオン、ロワーボリューム(コードボリューム)
- パフォーマンスメモリー：3トラック録音/再生
 コントロール：レコード1~3、プレイバック1~3
- ソロスタイルプレイ：ポップオーケストラ、ジャズカルテット、カクテルピアノ、カントリーピアノ、ロックバンド
- レジストレーション：コントロール；メモリー、リコール
- レフトペダルファンクション：ソフト/ソステナート/スタート・ストップ/イントロ・エンディング/フィルイン/ソロスタイルプレイ
- その他コントロール：パワースイッチ、マスターボリューム、MIDI/トランスポート
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子(IN L, IN R, OUT L, OUT R)、AUX出力端子(OUT L, OUT R)、MIDI端子(IN, OUT, THRU)
- メインアンプ：60W(30W×2)
- スピーカー：13cm×2、5cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：50W
- 外装：仕上げ；ブラックメタリック(スタンド：グラニット調仕上げ)、
 間口：141.5cm、奥行：56.2cm、高さ：79.5cm、重量：57kg
- 装備：スライド式キーカバー、折りたたみ式譜面立て

4.発音数一覧表

ここでは、各モードにおける同時発音数を表にします。

リズム	ピアノABC	ロワー	パフォーマンスメモリー	同時発音数
×	×	×	×	演奏音16音
○	×	×	×	リズム4音、演奏音12音
○	○	×	×	リズム4音、和音6音、ベース音1音、高音部5音
×	○	×	×	和音6音、ベース音1音、高音部9音
×	×	○	×	低音部6音、高音部10音
○	×	○	×	リズム4音、低音部6音、高音部6音
×	×	×	○	演奏音+再生音合わせて16音 (16音のうちリズムに4音使用される)

○：機能オン ×：機能オフ

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網をお問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ㈱高松店內 TEL.0878-51-7777.22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区五川町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター TEL.011-513-5035
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ㈱宮竹工場内 TEL.0534-65-6711
(本社) 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

*住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

本社

クラビノーバ事業部 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(60)3275

エレクトーン・クラビノーバ

東京事業所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル
TEL.03(572)3140

東京特販営業所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル
TEL.03(572)3130

エレクトーン・クラビノーバ

大阪事業所 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館
TEL.06(252)7541

大阪特販営業所 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館
TEL.06(252)7491

エレクトーン・クラビノーバ

名古屋事業所 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5140

エレクトーン・クラビノーバ

九州営業所 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2152

エレクトーン・クラビノーバ

北海道営業所 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター
TEL.011(512)6114

エレクトーン・クラビノーバ

仙台営業所 / 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル
TEL.022(222)6141

エレクトーン・クラビノーバ

広島営業所 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3748

YAMAHA feelin' club



T4960693007747